

10-World Champion YOKOMO

CGM

SPECIAL

YOKOMO

MR-4TC SD CGM SPECIAL

2003.12.4

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合せて、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい

■ 走らせる手順 ■

- ① タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ② スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③ 送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。（送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。）
- ④ 受信機のスイッチをONにします。

■ 走行終了手順 ■

- ① スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ② バッテリーの接続を外します。
- ③ 送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

■ バッテリーの取り扱い ■

（バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

■ モーターの取り扱い ■

（モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかり固定し3~5V程度でから回しして下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [MR-4TC SD CGM] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)
TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用7.2V バッテリーパック
7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ
TIRES
- 走行用ボディー(ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

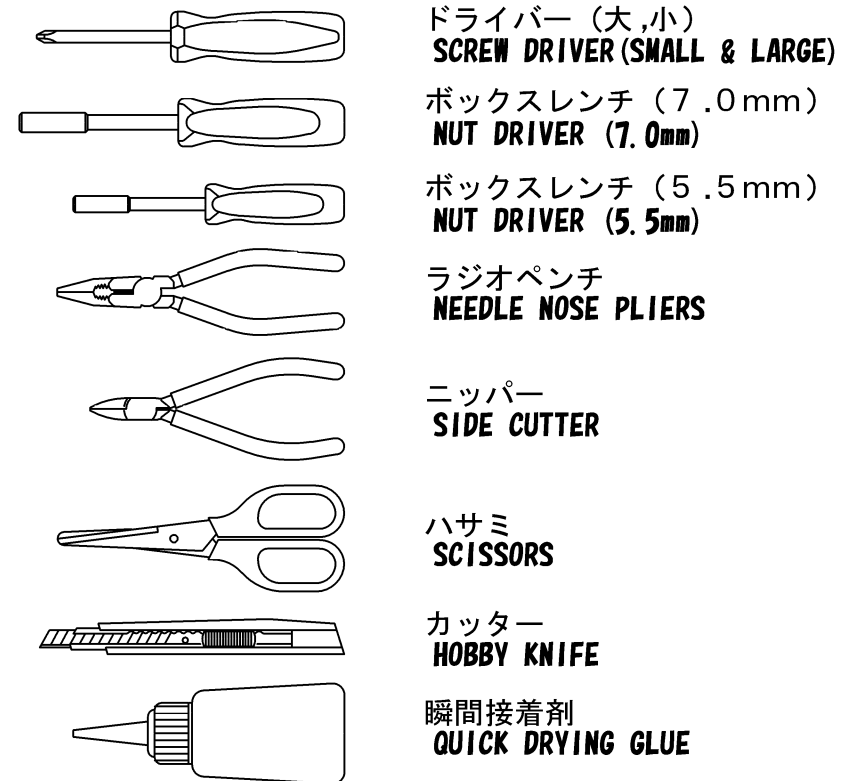
■ 袋以外の箱に入っている物 ■

PARTS INCLUDED IN KIT

- | | |
|-----------|--------------|
| ● バンパー | BUMPER |
| ● ホイール | WHEELS |
| ● メインシャーシ | MAIN CHASSIS |
| ● ショックオイル | SHOCK OIL |

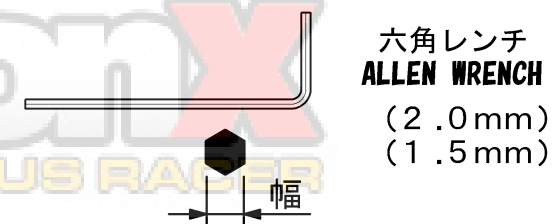
■ 別途用意する工具 ■

ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



■ キットに入っている工具 ■



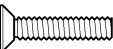
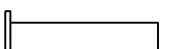
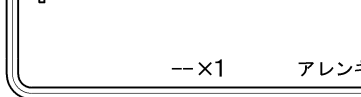
TOOLS (INCLUDED)

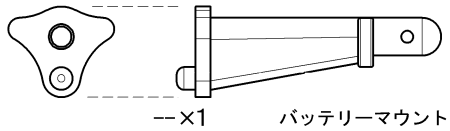




[MR-4TC SD CGM]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

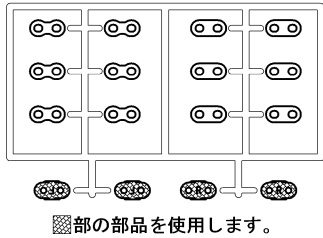
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [MR-4TC SD CGM] will perform at its best!!

【袋①の内容】

-  --x8 M3x8 皿ビス
-  --x1 M3x10 皿ビス
-  --x2 M3x15 皿ビス
-  --x2 ベルクランクポスト
-  --x1 アレンキー(2.0mm)



-  --x2 フロントサスマウント
-  --x2 リアサスマウント



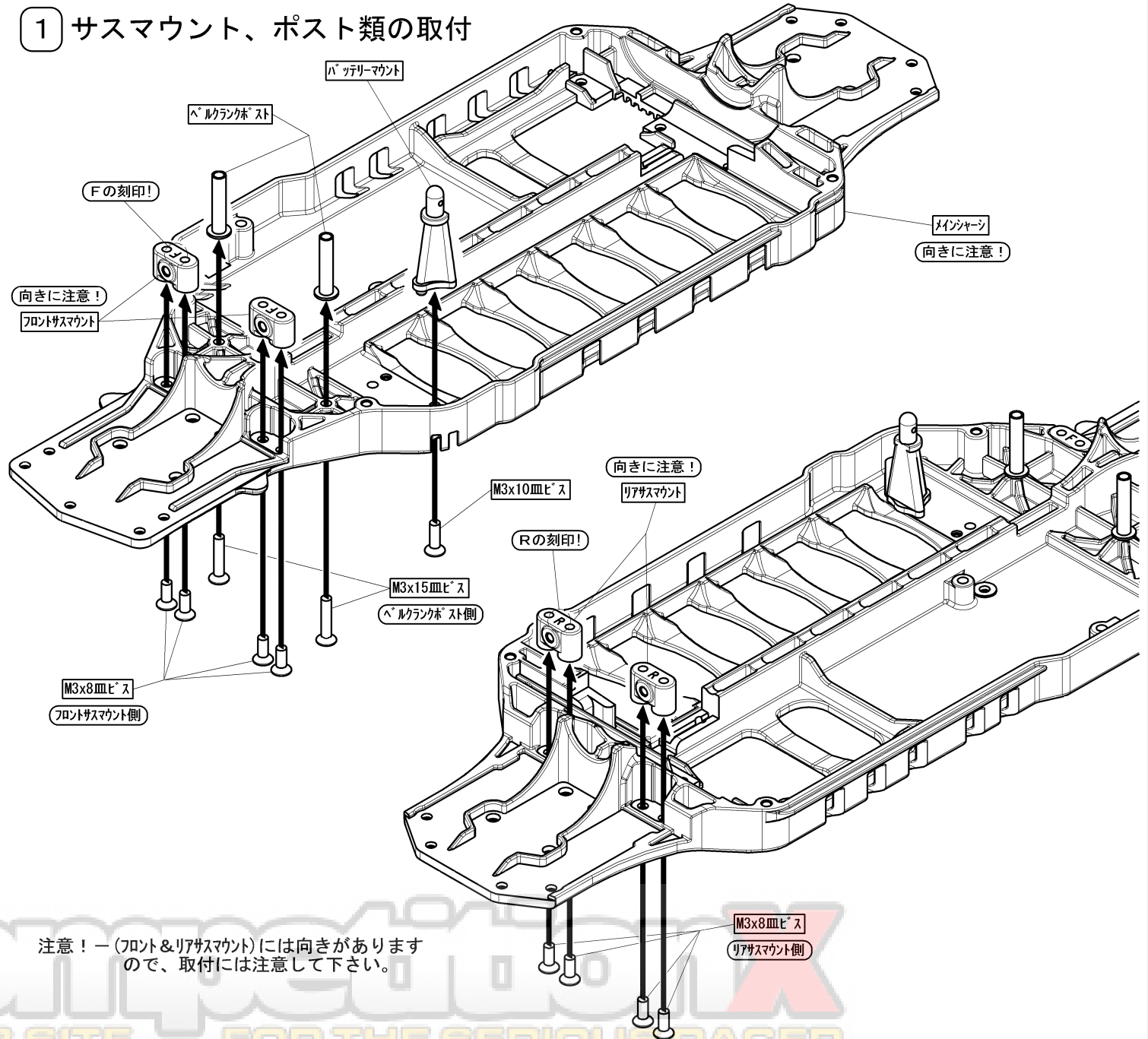
2種類のスペーサーは以下のようになります。
 こばん型 = 高さ調整用 1mm厚 (1枚)
 ひょうたん型 = スキッド角調整用 1度 (1枚)

【取付け前にちょっと注目！】

キットに付属する全ての3mm径ネジは、頭の部分が6角タイプ(●)になっています。ネジを回す時は、付属のアレンキー(2.0mm)をご使用下さい。

アレンキーでは作業がしにくい場合は、オプションのワークスレンチ 2.0mm (YT-W200 ¥980) をお買い求め下さい。

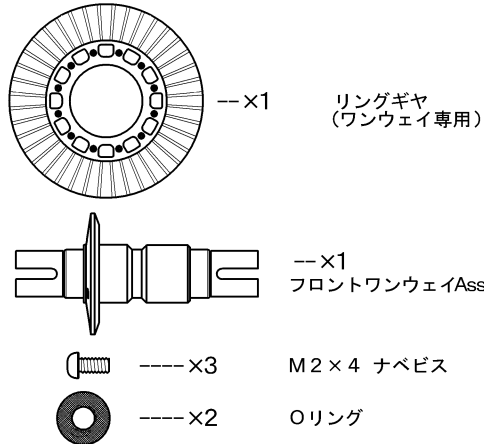
1 サスマウント、ポスト類の取付



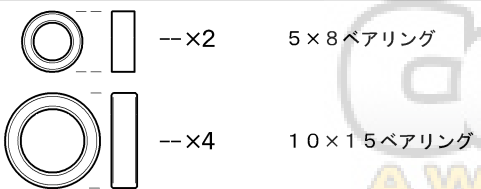
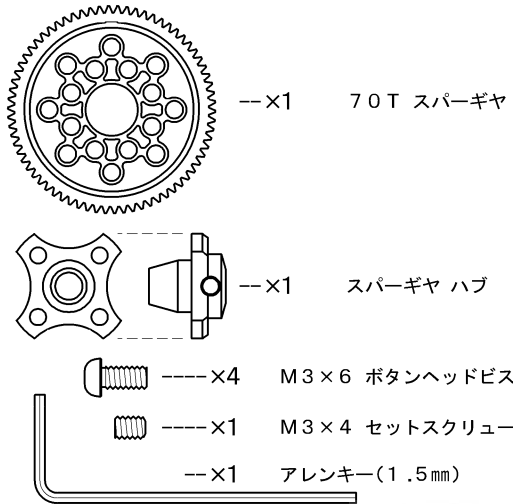
注意! (フロント&リアサスマウント)には向きがありますので、取付には注意して下さい。

【袋②の内容】

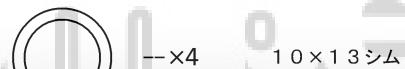
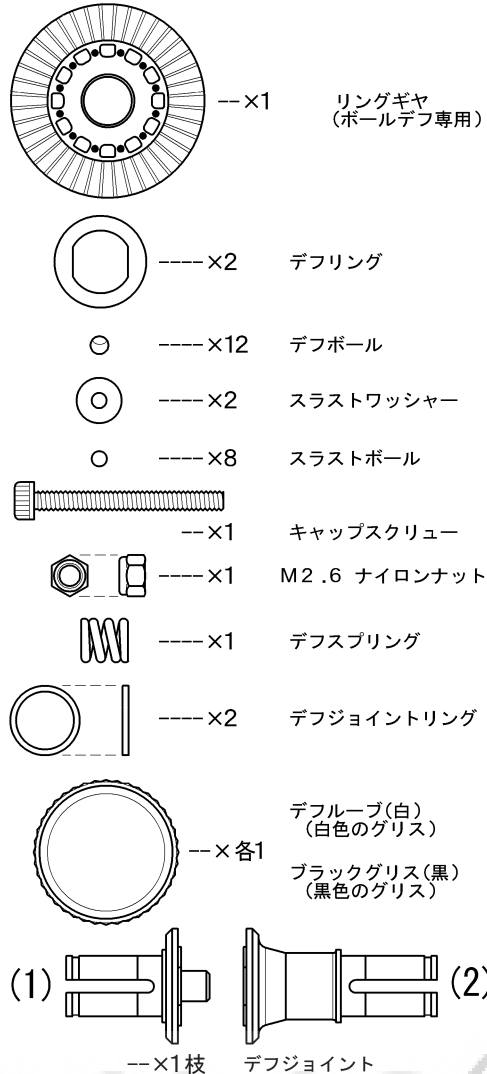
[フロントワンウェイ用パーツ]



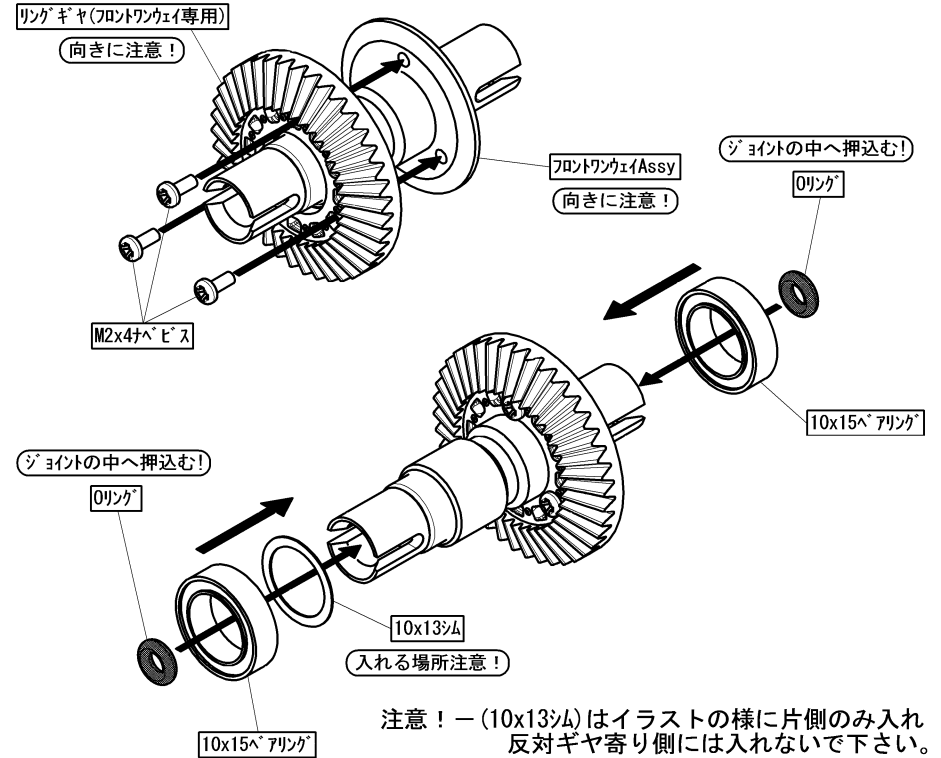
[スパーギヤ用パーツ]



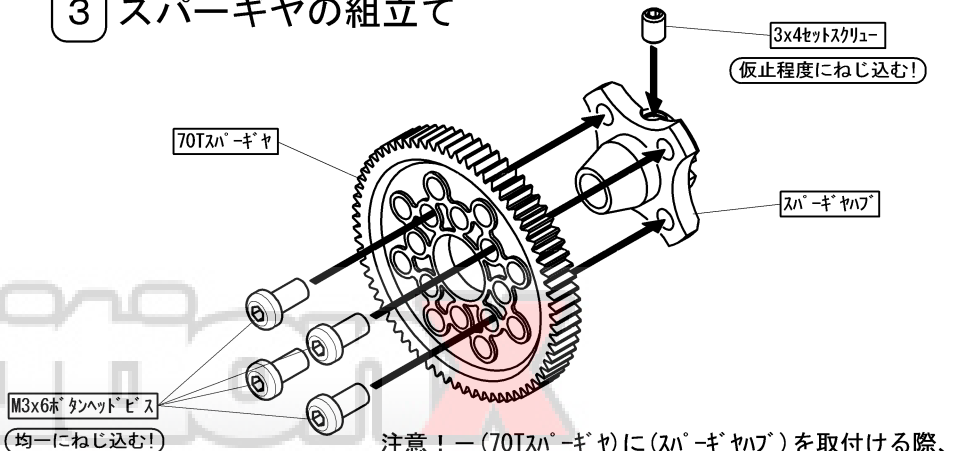
[リアボールデフ用パーツ]



2 フロントワンウェイの組立て

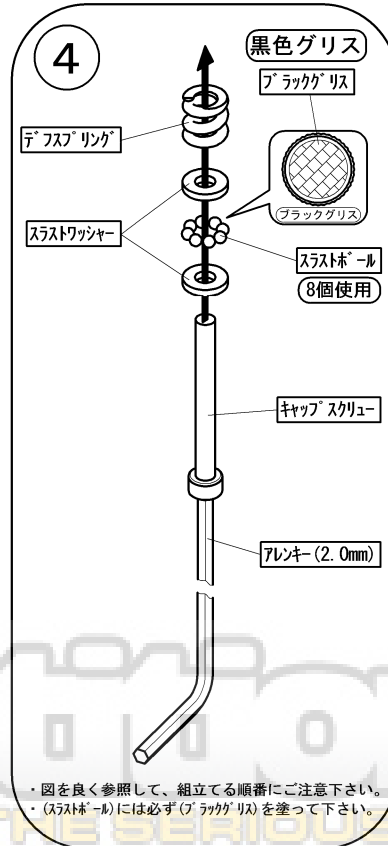
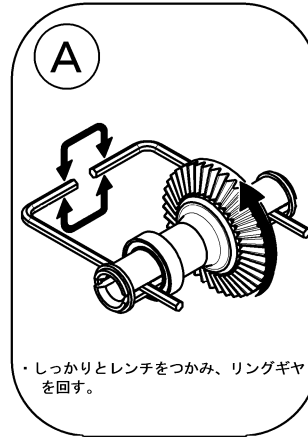
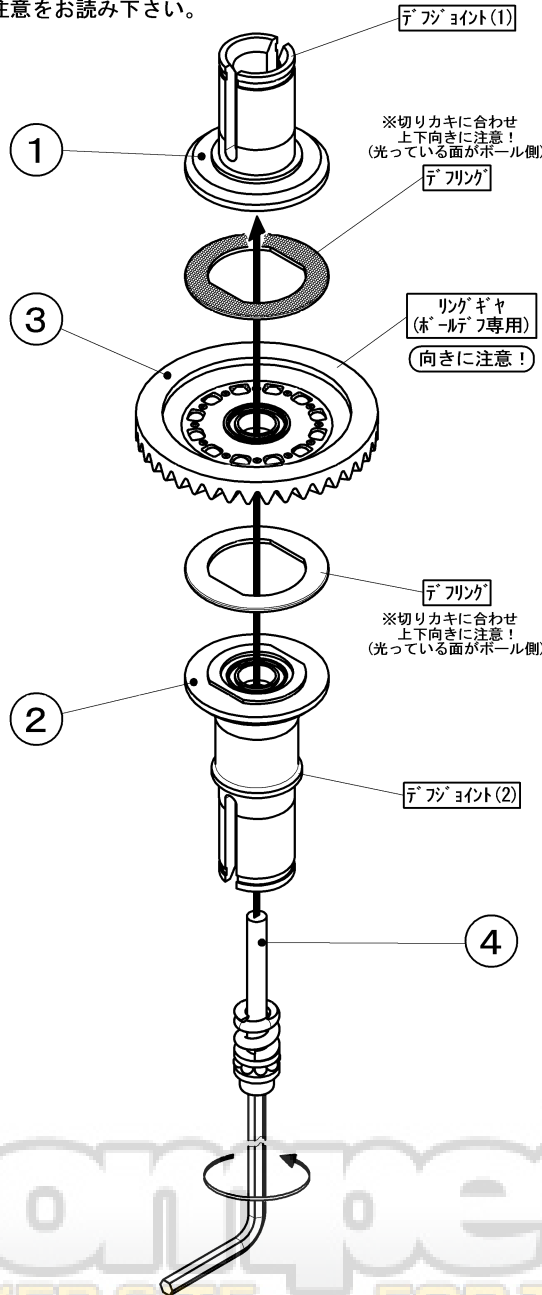
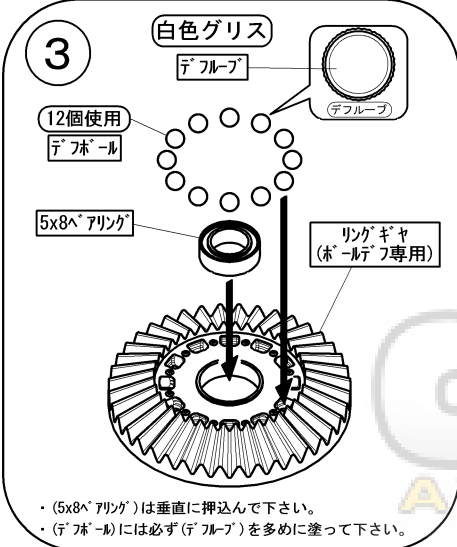
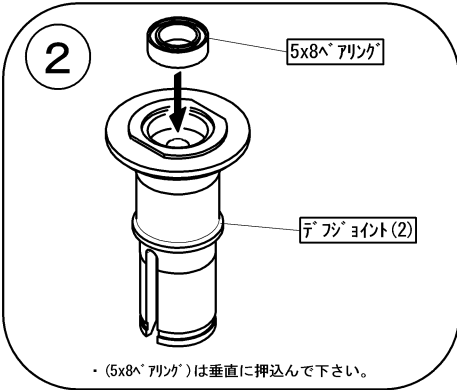
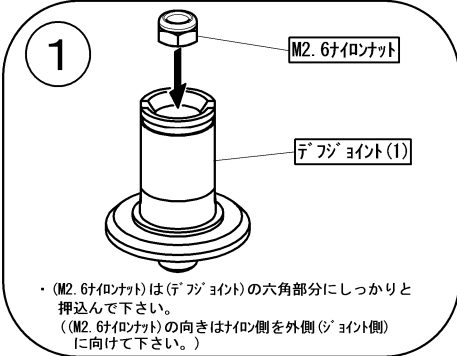


3 スパーギヤの組立て



4 リアボールデフの組立て

※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。

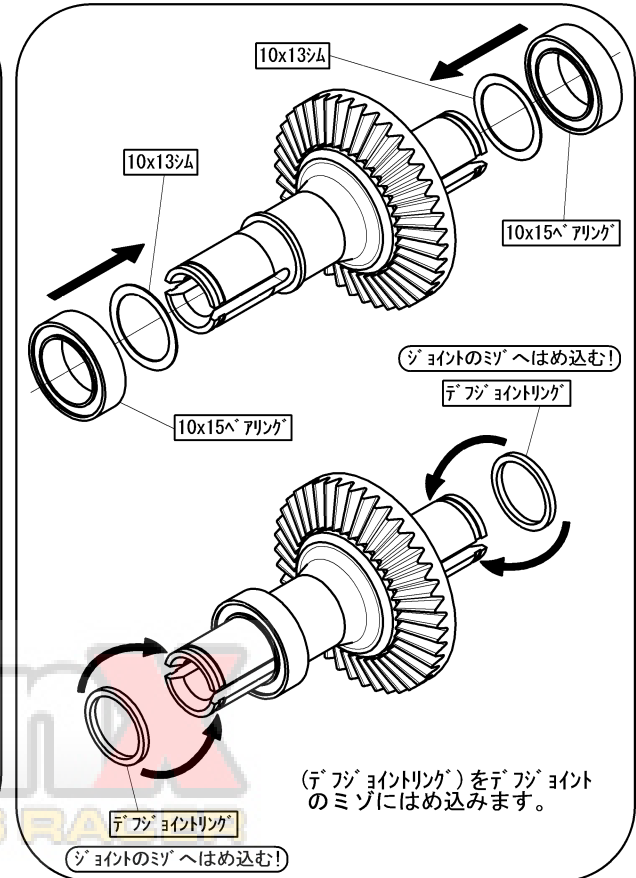


注意! ①(デフリング)、(デフボール)にはサビ止め用のオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで脱脂を行うと、よりスムーズな差動を得る事ができます。











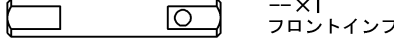
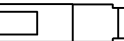

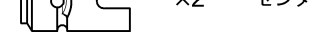
②(デフリング)には上下の向きがあります。必ず曇りがある面をデフジョイント側、光っている面をボール側に向けて組立てを行って下さい。



③(デフボール)には(デフルーブ)を、(スラストボール)には(ブラックグリス)を必ず充填して下さい。


④(キャップスクリュー)を締込む目安は、図(A)の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でリングギヤが回らないポイントまで少しずつ締め込む様にして下さい。
(この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。)




【袋③の内容】

-  --x2 M2.6x6 皿ビス
 -  --x6 M3x8 皿ビス
 -  --x1 M3x12 皿ビス
 -  --x4 M3x8 ボタンヘッドビス
 -  --x4 M3x10 ボタンヘッドビス
 -  --x2 ハブピン(銀)
 -  --x1 ハブピン(黒)
 -  --x1 Oリング
 -  --x2 Oリング(φ7.5)
 -  --x1 フロントインプットシャフト
 -  --x1 リアインプットシャフト
 -  --x2 センタードライブカップ
 -  --x2 ドライブギヤ
 -  --x1 モーターマウント
- その他、ミッションケース類、シャーシプレース類

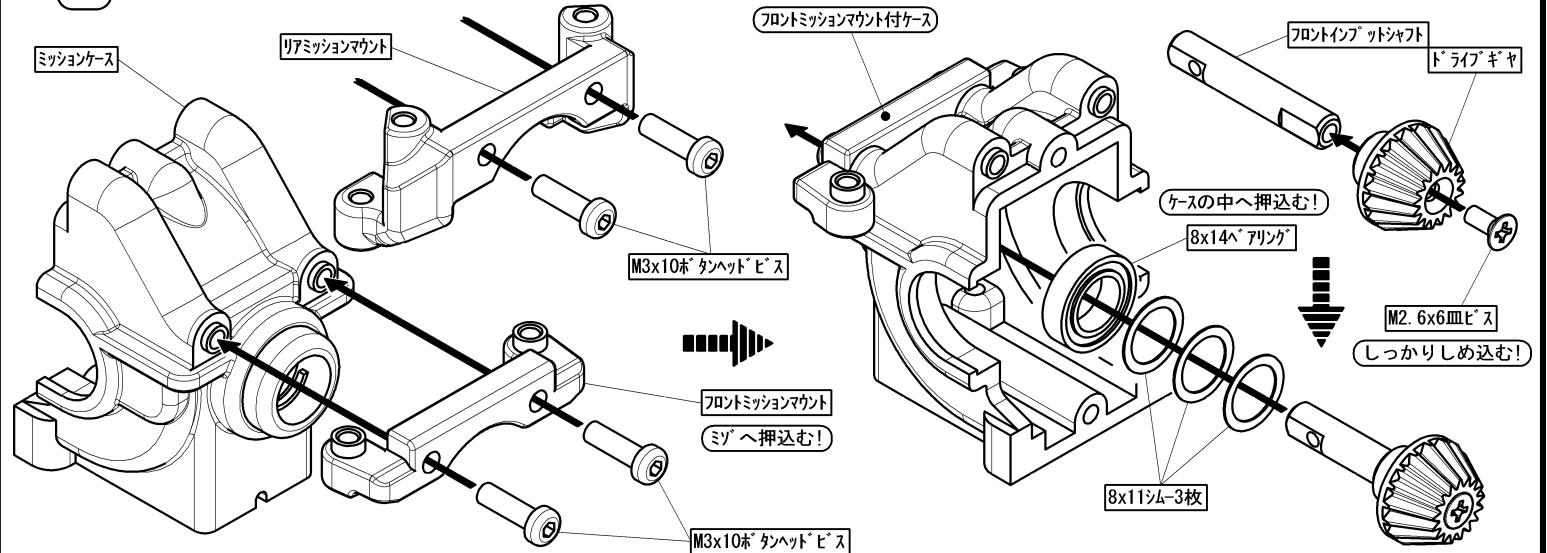
-  --x1 5x8 シム
-  --x6 8x11 シム

-  --x3 5x10 ベアリング

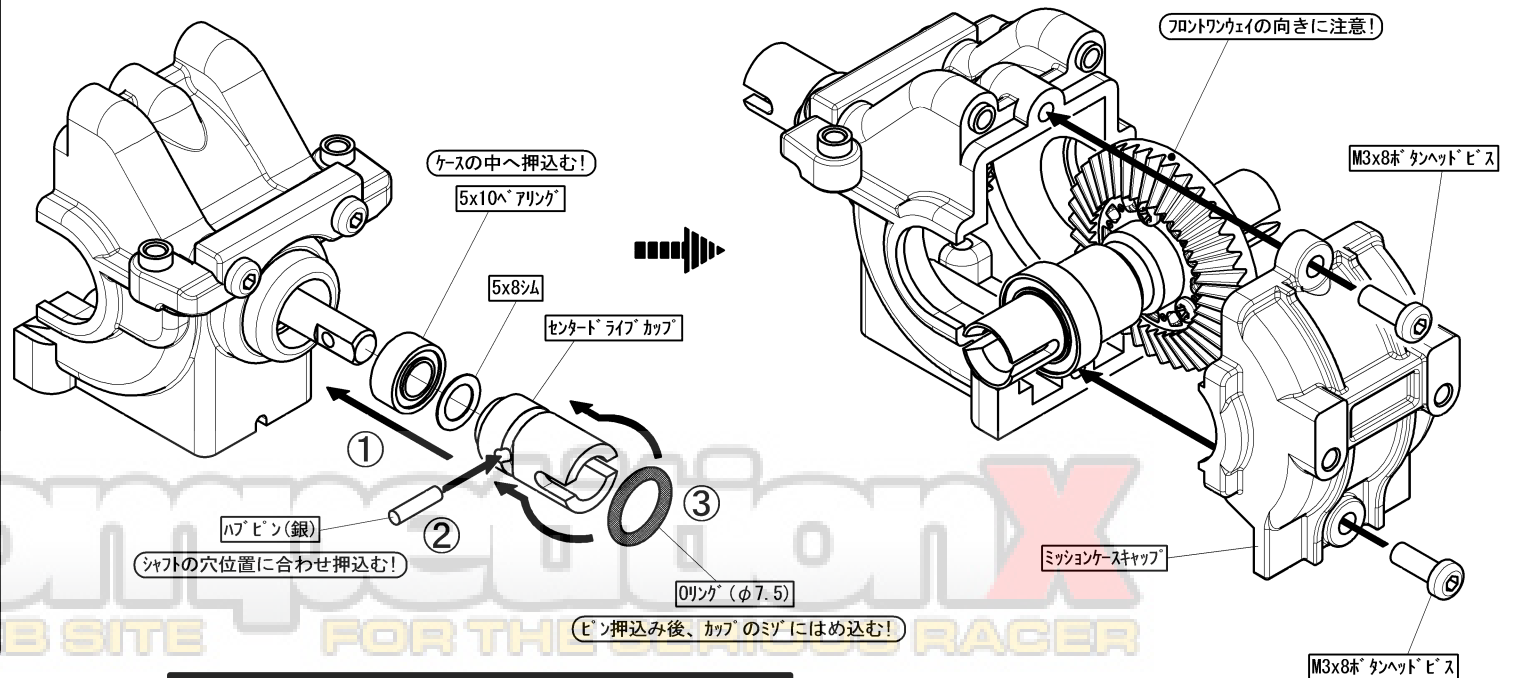
-  --x2 8x14 ベアリング

5 フロントミッションケースの組立て

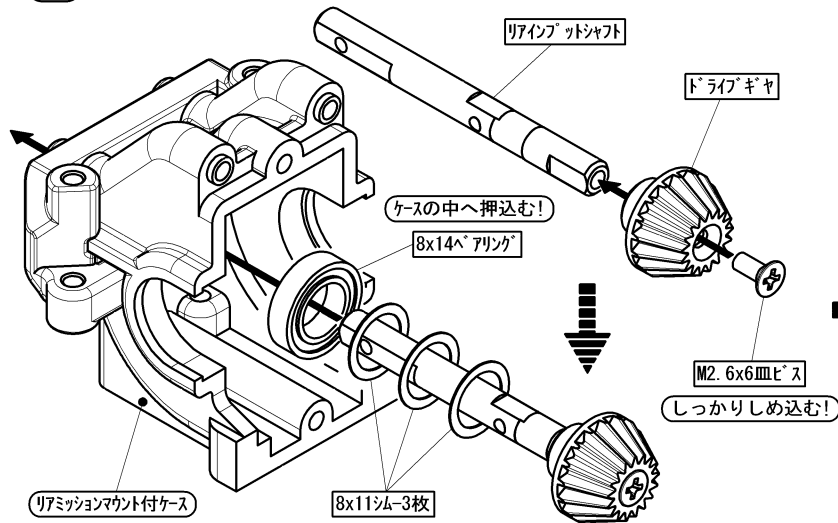
注意！ - (M2.6x6皿ビス)は、しっかりと締め込んで下さい。



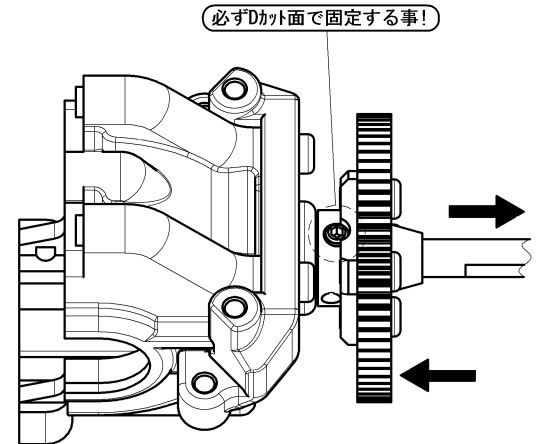
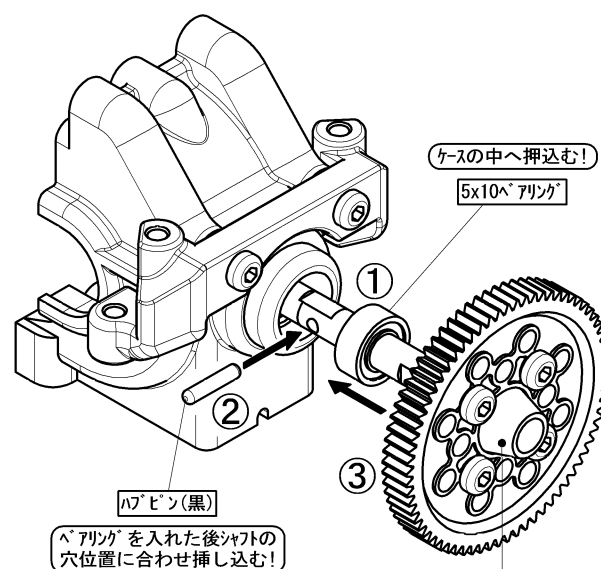
(ミッションケース)に(フロントミッションマウント)をはめ込み、(M3x10ボタヘッドビス)で固定します。
同様に(リアミッションマウント)をはめ込んだ(ミッションケース)も作ります。(次ページ)で使用



6 リアミッションケースの組立て

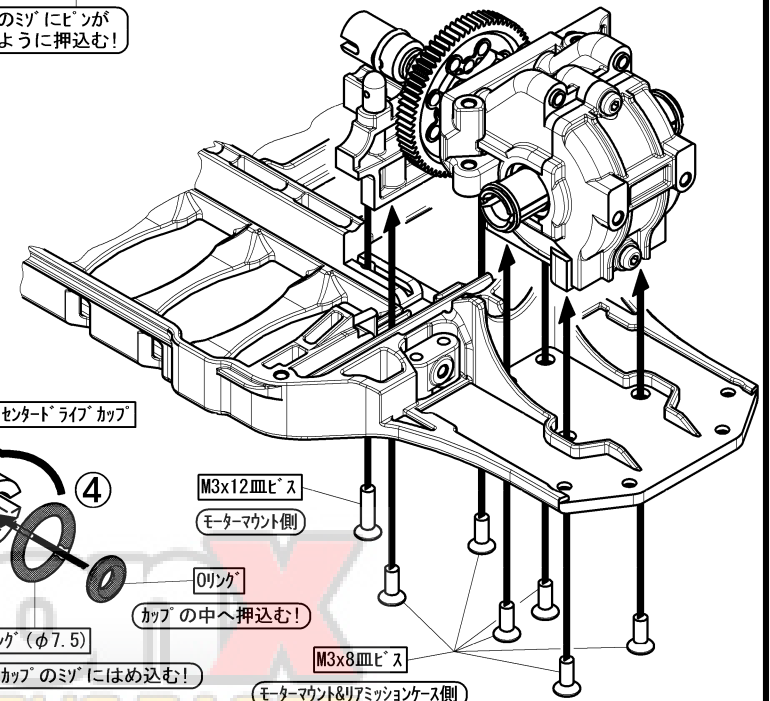
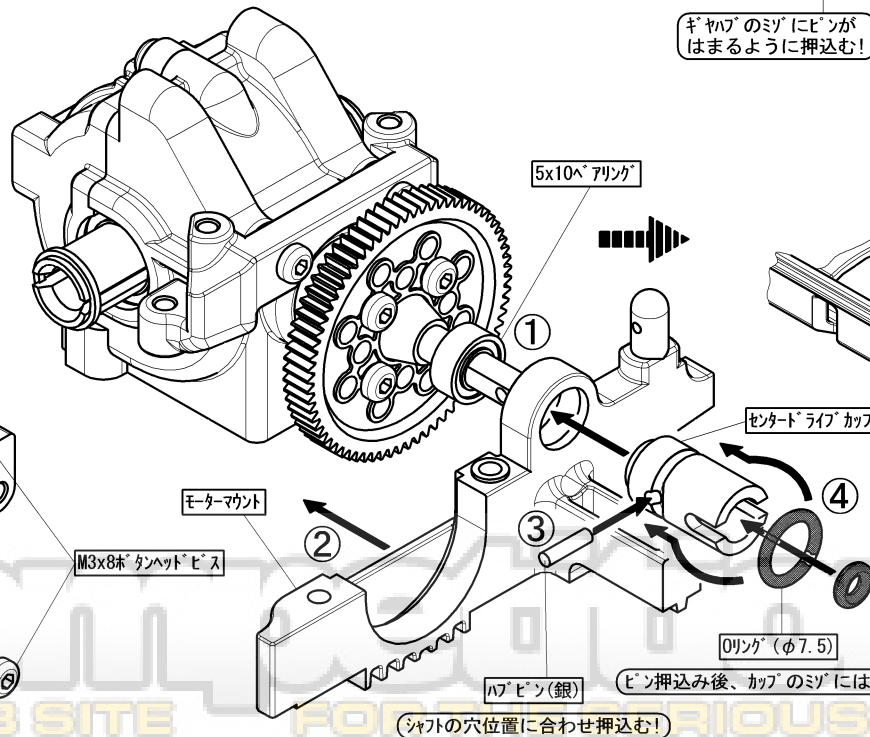
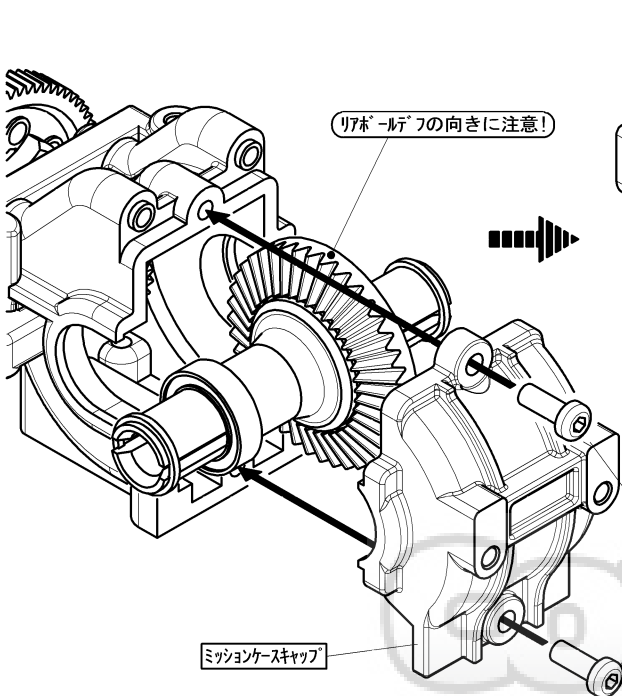


注意! ①(M2.6x6mmビス)は、しっかりと締め込んで下さい。



シャフトのDカット面にセットスクリーが当たるのを確認後、シャフトを引いた状態でスパーギヤをケース側に押し当てながら、セットスクリーをしめ込み固定して下さい。

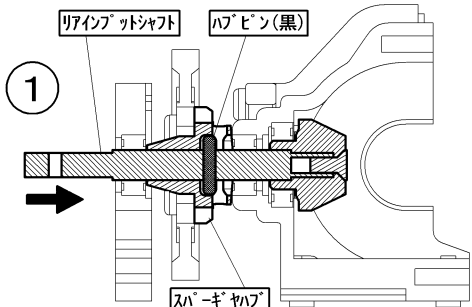
注意! ②(スパーギヤ)を固定する(セットスクリー)は強くしめすぎないように注意して下さい。(ゆるみ止めにネジロック剤などを使用して下さい。)



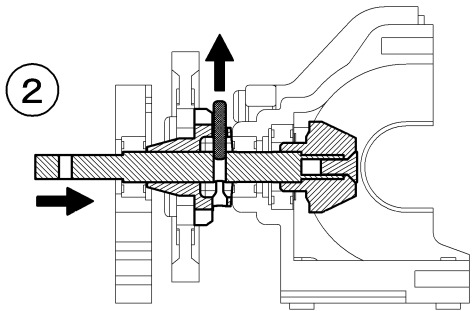
(モーターマウント)を固定する外側の穴は使用しませんので、ビスで固定しないで下さい。(3点固定です。)

1 ポイントアドバイス!

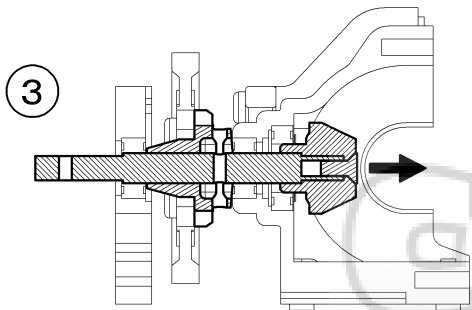
スパーギヤハブの取外し方



スパーギヤハブのセットスクリーをゆるめリアインプットシャフトを後方へづらす。(あらかじめセンタードライブカップを外しておいて下さい。)

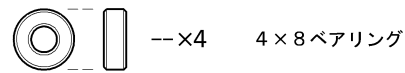
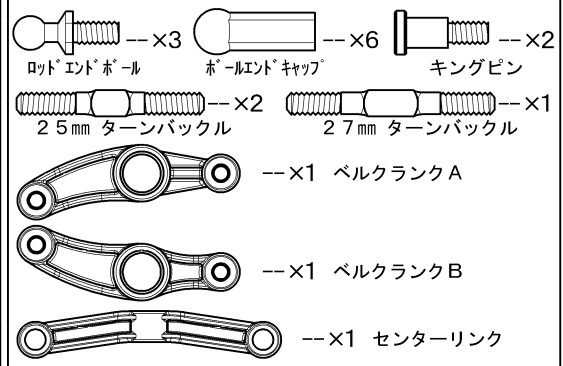


スパーギヤハブの穴からハブピンが見える位置までリアインプットシャフトをつらしハブピンを抜く。(ハブピンが抜けやすい場合は、薄くゴム系接着剤などを塗って下さい。)



リアインプットシャフトを引き抜きスパーギヤハブを上から抜く。(再組立時は逆の手順で行います。)

【袋④の内容】



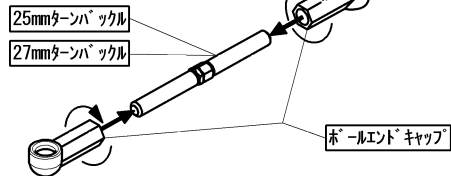
各タイロッドの組立て

・各ターンバックルの両側から(ボールエンド)をねじ込みロッドを組立てます。



・袋(4-1)の中に(ターンバックル用)が入っています。ロッドを調整する時などにご使用下さい。

片側が逆糸になっています。

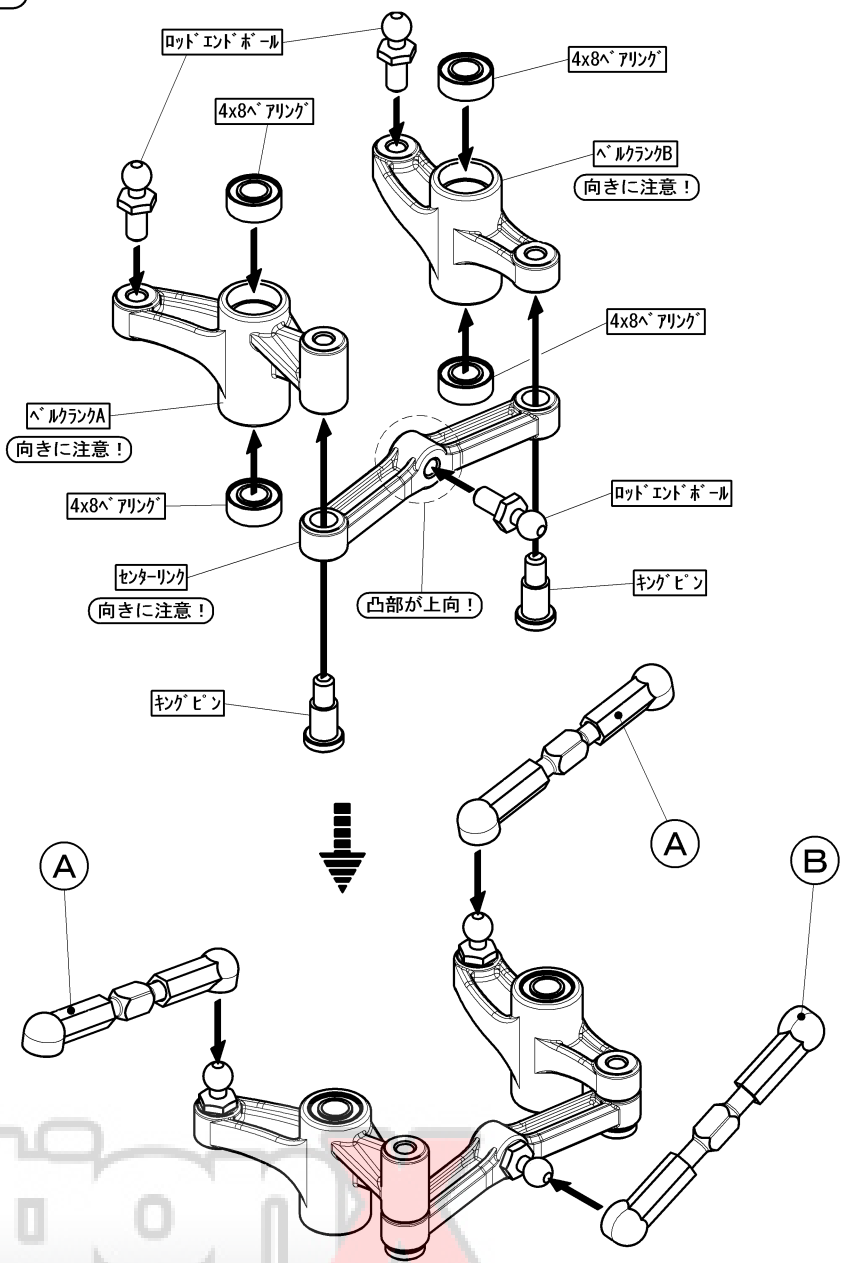


・各ロッド共、下記寸法で作成して下さい。






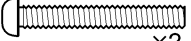
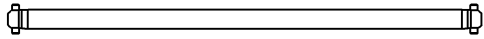
使用するサーボにより長さを調整します。

7 ベルクランクの組立て

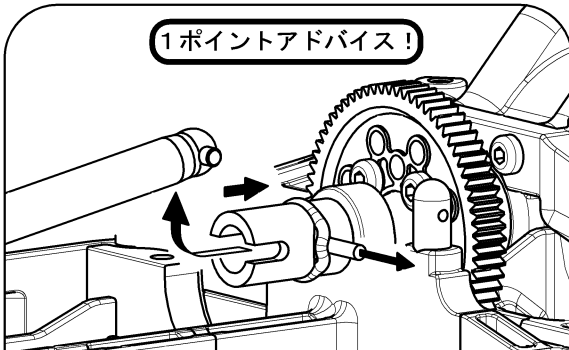


2種類の各ロッドを(ロッドエンドボール)にはめ込みます。(はめ込む場所を間違えないように注意して下さい。ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ後での長さ調整が簡単に行えます。)

【袋⑤の内容】

-  --x4 M3x8 皿ビス
-  --x4 M3x8 ボタンヘッドビス
-  --x4 M3x12 ボタンヘッドビス
-  --x2 M3x22 ボタンヘッドビス
-  --x1 メインドライブシャフト
- その他、アンテナパイプ1本

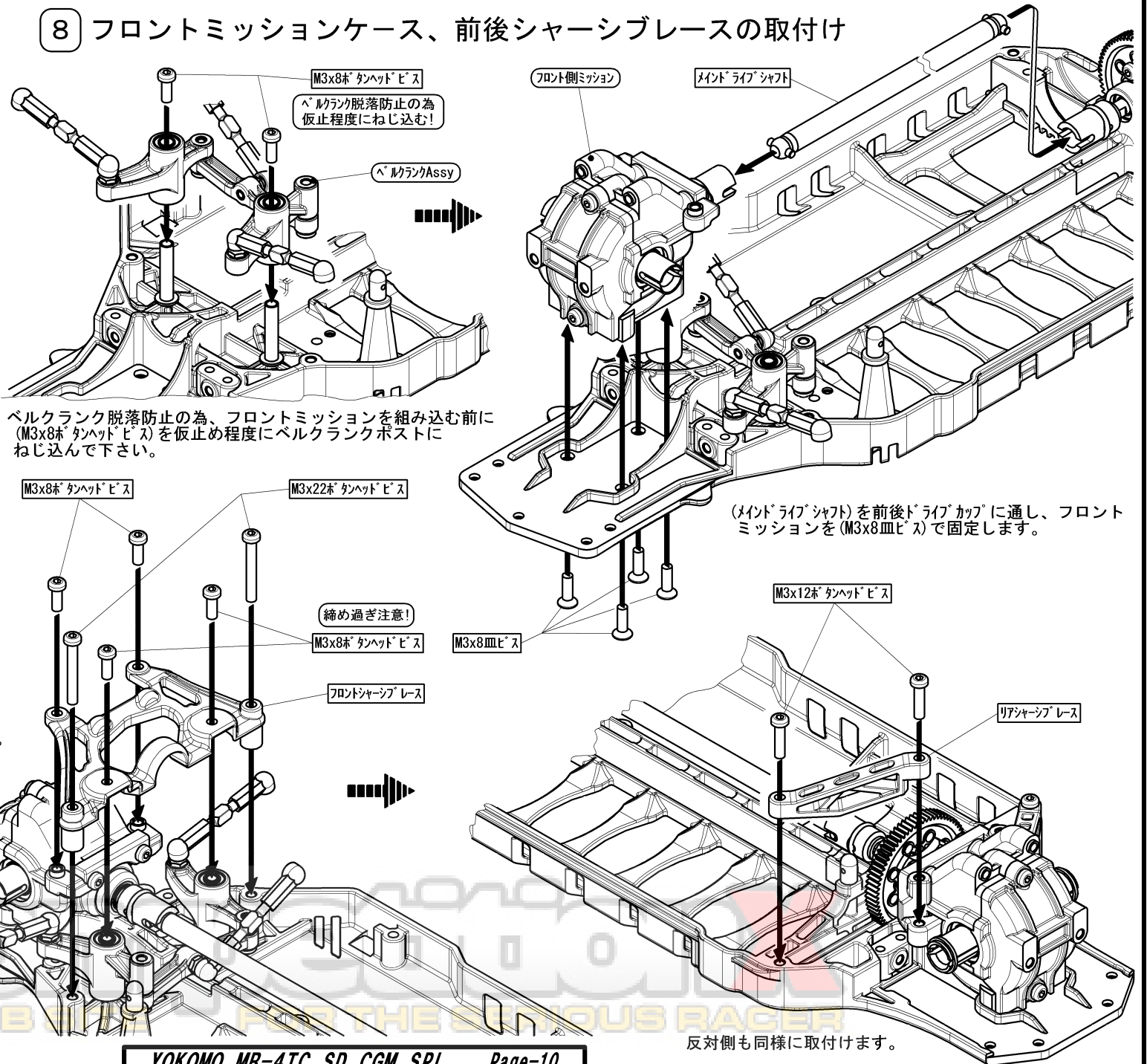
1ポイントアドバイス!



組立後、メインドライブシャフトを抜取の場合は、インプットシャフトからハブピン(銀)が抜けるまで外から押し出し、センタードライブカップをスラスすることで簡単に取る事ができます。

仮止めした(M3x8ボタンヘッドビス)を外し、(フロントシャーシレース)を各ビスで固定します。

8 フロントミッションケース、前後シャーシレースの取付け



M3x8ボタンヘッドビス
ベルクランク脱落防止の為
仮止程度にねじ込む!

ベルクランクAssy

ベルクランク脱落防止の為、フロントミッションを組み込む前に(M3x8ボタンヘッドビス)を仮止め程度にベルクランクポストにねじ込んで下さい。

(メインドライブシャフト)を前後ドライブカップに通し、フロントミッションを(M3x8皿ビス)で固定します。

締め過ぎ注意!
M3x8ボタンヘッドビス



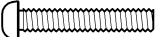

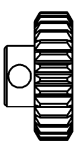

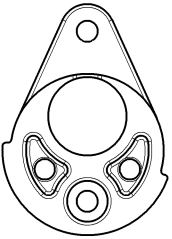
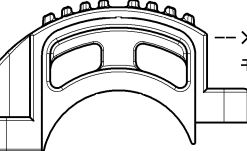
フロントシャーシレース

M3x12ボタンヘッドビス

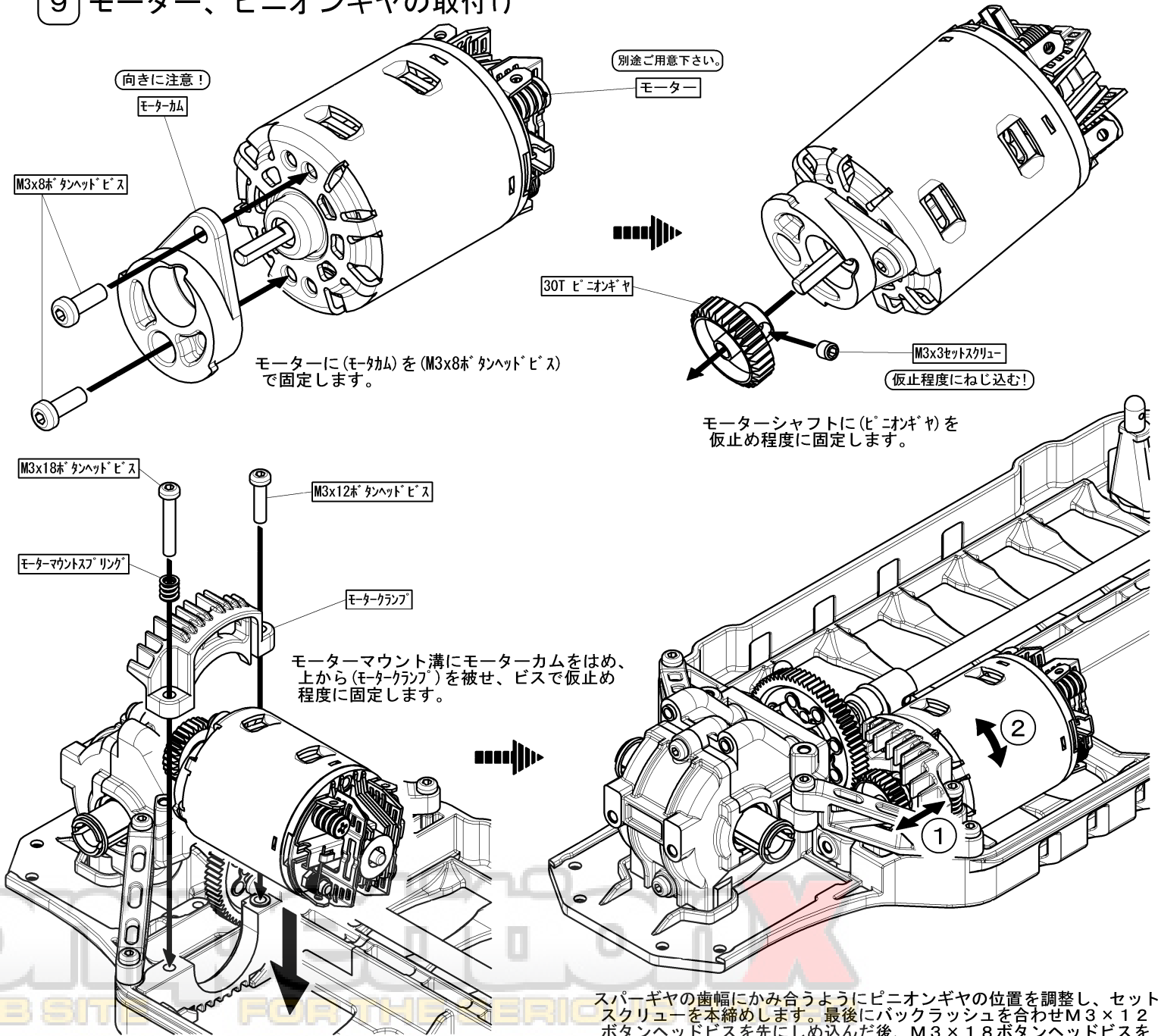
リアシャーシレース

反対側も同様に取付けます。

【袋⑥の内容】

-  --x2 M3×8 ボタンヘッドビス
-  --x1 M3×12 ボタンヘッドビス
-  --x1 M3×18 ボタンヘッドビス
-  --x1 M3×3 セットスクリュー
-  --x1 30T ピニオンギヤ
-  --x1 モーターマウントスプリング
-  --x1
モーターカム
-  --x1
モータークランプ

9 モーター、ピニオンギヤの取付け



注意！①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途ご用意下さい。

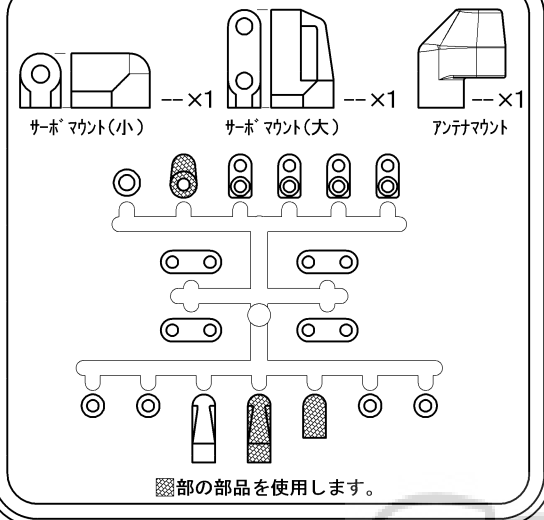
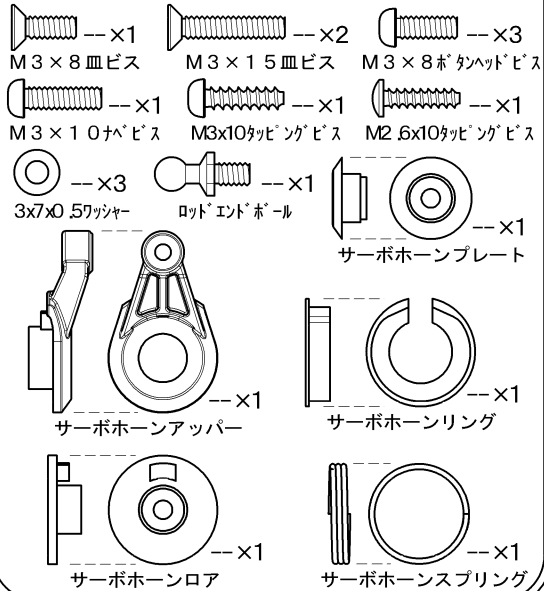
②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの(Dカット)されている部分に、セットスクリューが当たる様にしっかりと締め込んで下さい。

③バックラッシュは少し隙間が出る程度に調整して下さい。(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)

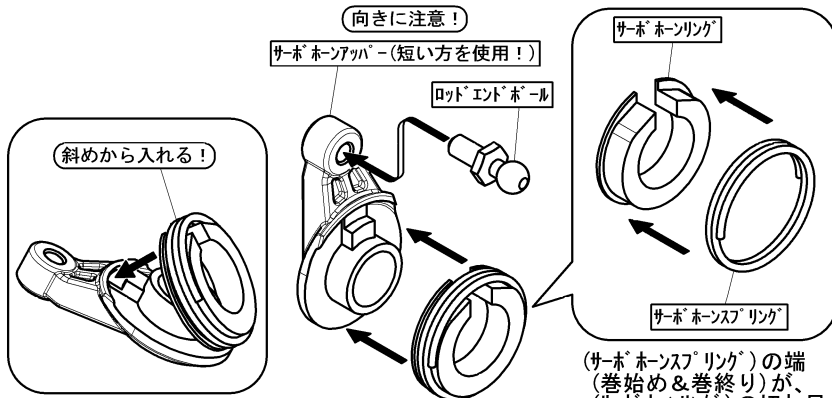
④連続走行はモーターに必要な以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの位置を調整し、セットスクリューを本締めします。最後にバックラッシュを合わせM3×12ボタンヘッドビスを先にしめ込んだ後、M3×18ボタンヘッドビスをスプリングが5mm～6mm程度の長さになるまでしめ込みます。

【袋⑦の内容】

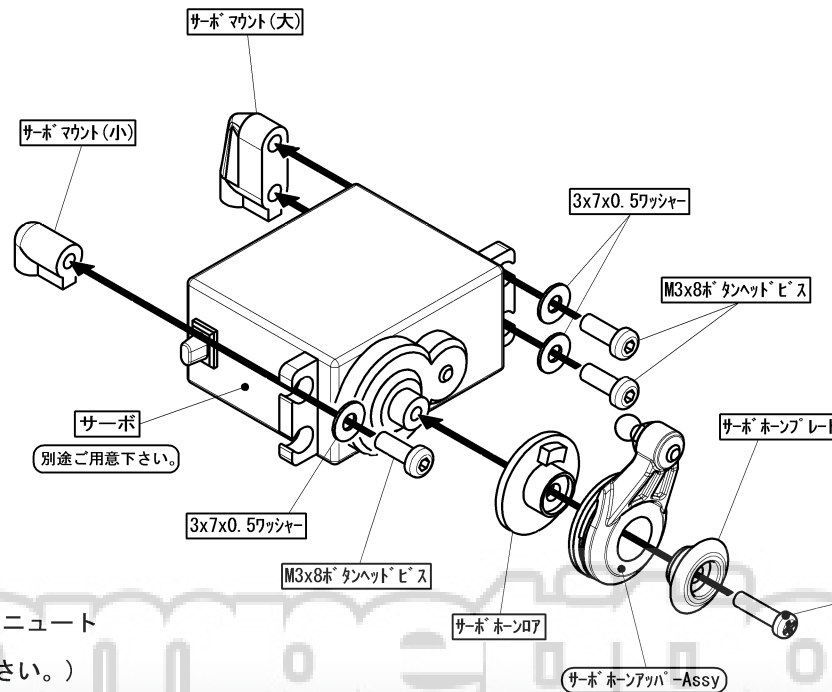


10 サーボセーバー、サーボの取付け



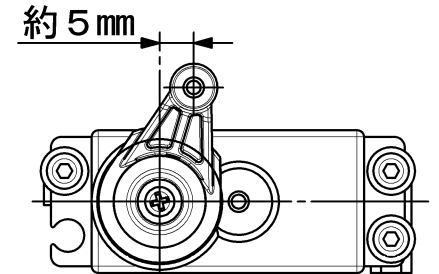
(サーボホーンアッパー)は2種類付属されていますが、全長の短い方を使用します。(サーボホーンリング)のはめ込みが固い場合は、イラストの様に斜めから入れて下さい

(サーボホーンスプリング)の端(巻始め&巻終り)が、(サーボホーンリング)の切れ目にかからないよう取付けて下さい。



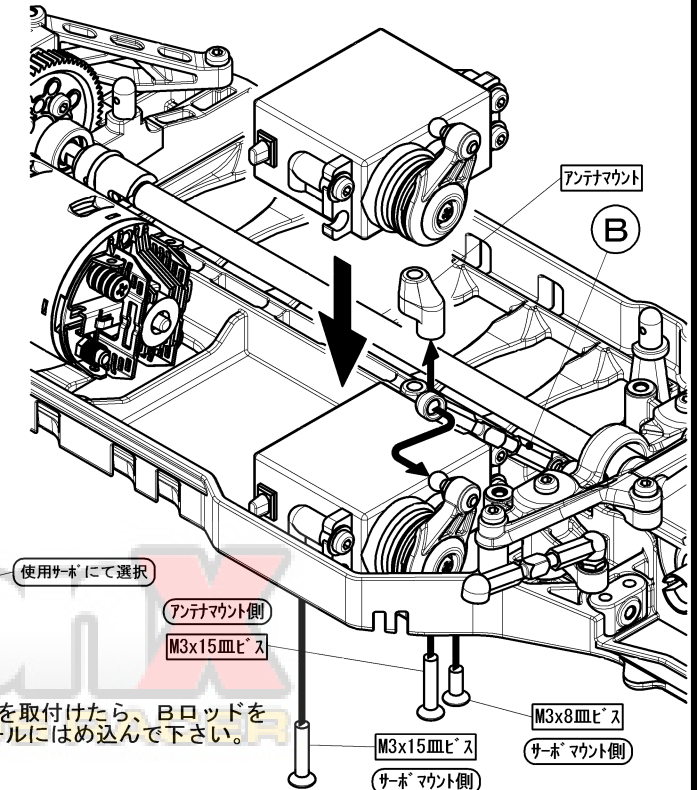
F	刻印	メーカー
	F	フタバ
	H	ハイテック
	JKS	J.R, K.O, サンワ

付属の(サーボホーン)には刻印が入っています。ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。



サーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホーンを約5mm(1山分)ずらして取付けて下さい。

注意! ①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。(本キット付属のビスは、トラスM2.6×10タンヘッドビス、M3×10タンヘッドビス、M3×10ホトビスの3種類です。)



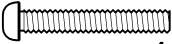
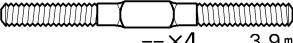
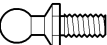

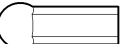
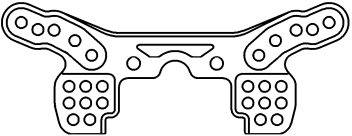
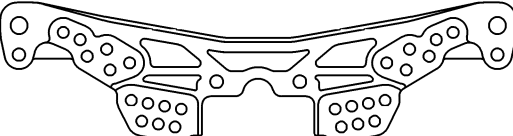


注意! ②(サーボホーン)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。(詳しくはプロポセットの説明書をご覧ください。)

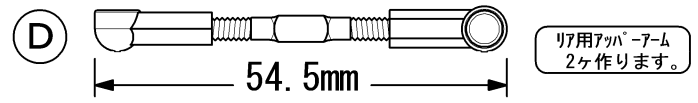
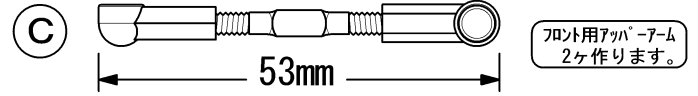
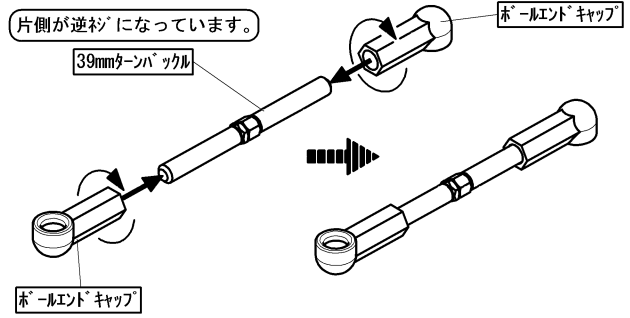
③キット付属の(サーボホーン)は3種類用意されています。必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

シャーンにサーボを取付けたら、Bロッドをロッドエンドボールにはめ込んで下さい。

【袋⑧の内容】

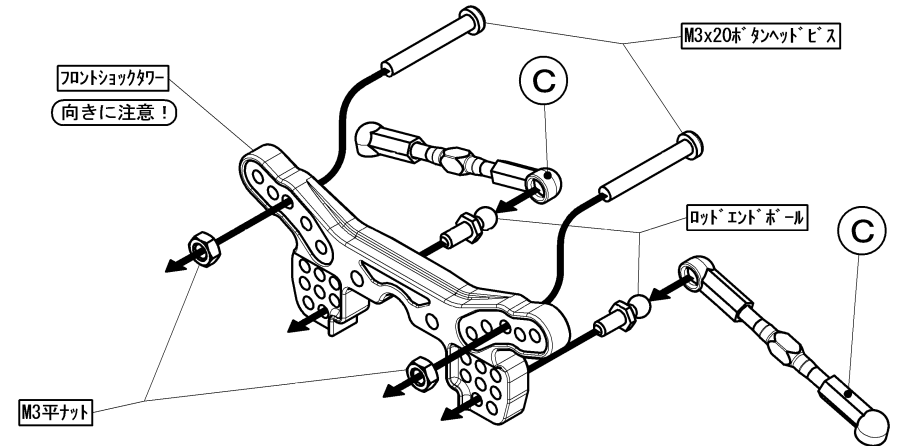
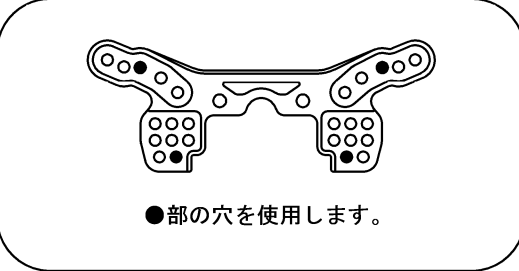
-  --x2 M3x8 ボタンヘッドビス
-  --x2 M3x10 ボタンヘッドビス
-  --x4 M3x20 ボタンヘッドビス
-  --x4 39mm ターンバックル
-  --x4 ロッドエンドボール
-  --x6 M3 平ナット
-  --x8 ボールエンドキャップ
-  --x1 フロントショックタワー
-  --x1 リアショックタワー

11 前後アッパーアームの組立て

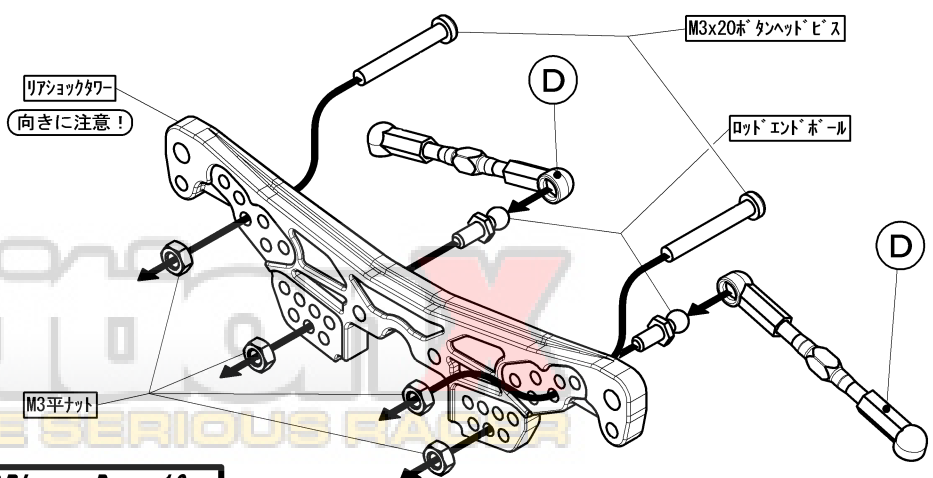


フロント用、リア用共ボールエンドキャップの向きは、取付時に調整して下さい。

フロントショックタワーに取付け



リアショックタワーに取付け

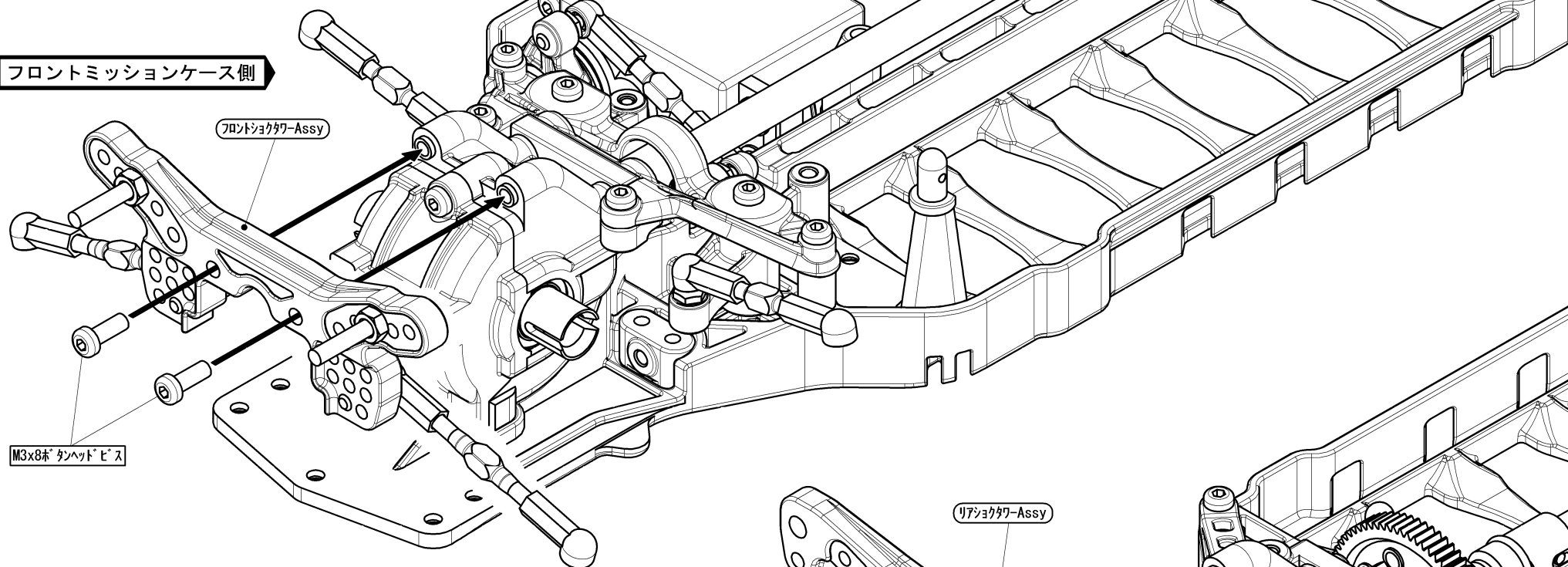


ロッドエンドボールをショックタワーに取付後、前後アッパーアームをはめ込んで下さい。(ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ後の長さ調整が簡単に行えます。)

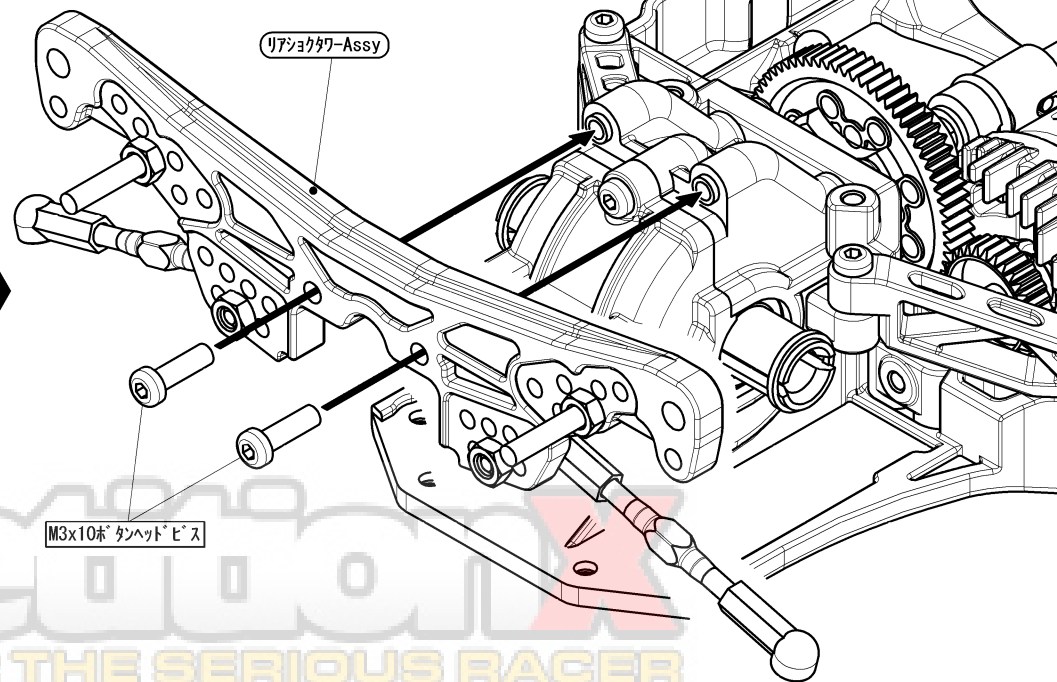
注意！一前後ショックタワーには取付け向きがありますので注意して下さい。

12 前後ショックタワーの取付け

フロントミッションケース側



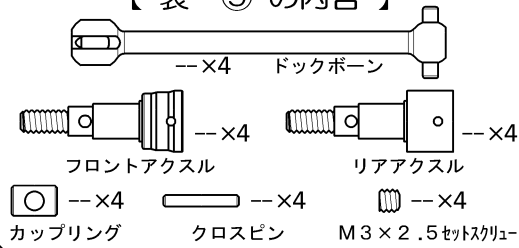
リアミッションケース側



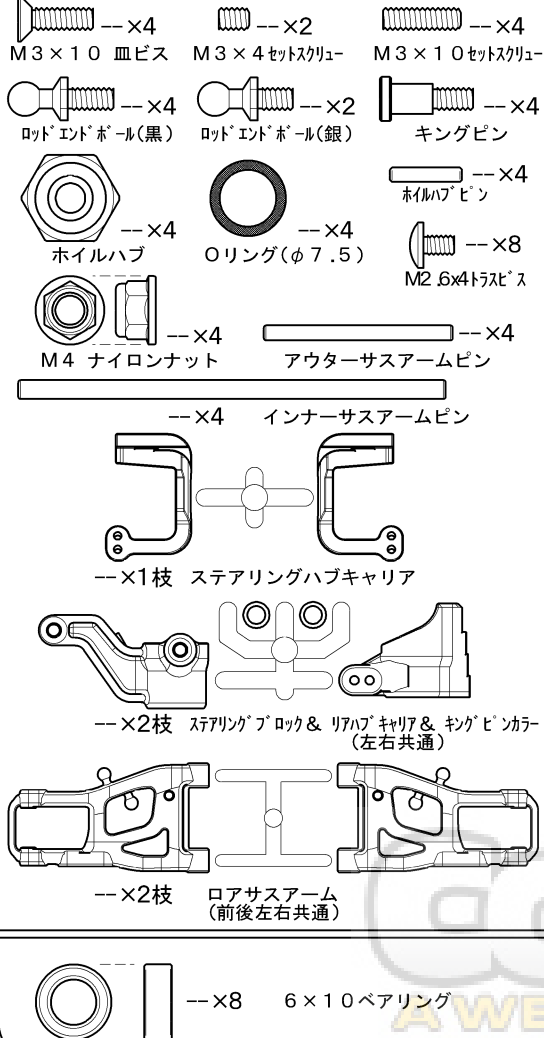
注意！—フロントショックタワー、リアショックタワーを取付ける時は、前後ミッションケースの凸部にしっかりとめ込み指定のビスで固定して下さい。

COMPETITION A WEB SITE FOR THE SERIOUS RACER

【袋⑨の内容】



【袋⑩の内容】

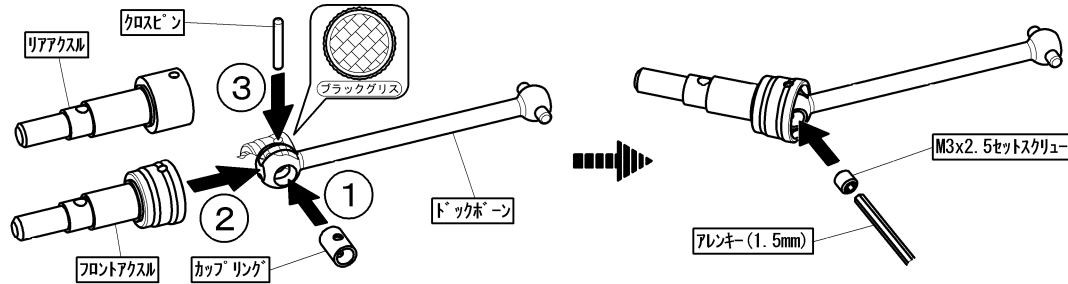


13 フロント&リアハブキャリアの組立て

ユニバーサルシャフトの組立て

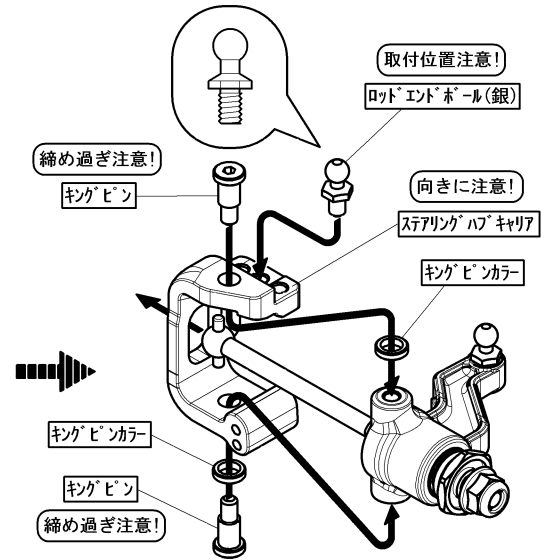
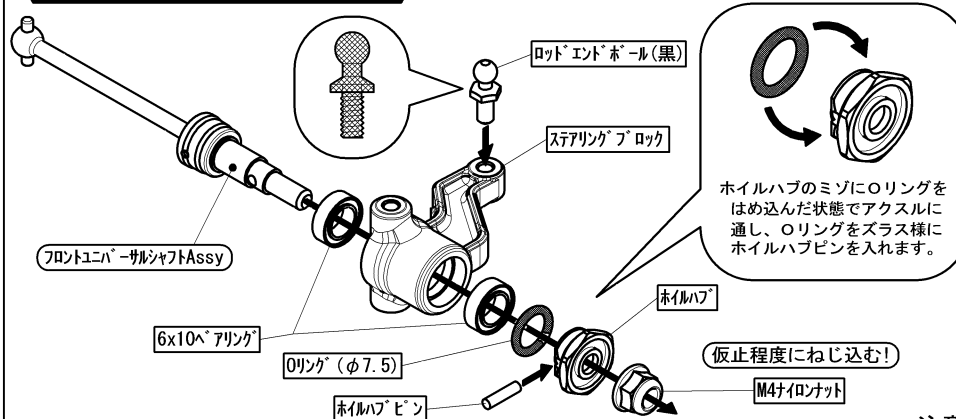
フロント用、リア用と同じように2セット作ります。

注意！①アクスルにドックボーンをはめる時は必ずブラックグリスを塗って下さい。



フロントハブキャリアの組立て

2セット作ります。(ステアリングハブキャリアには左右あり)

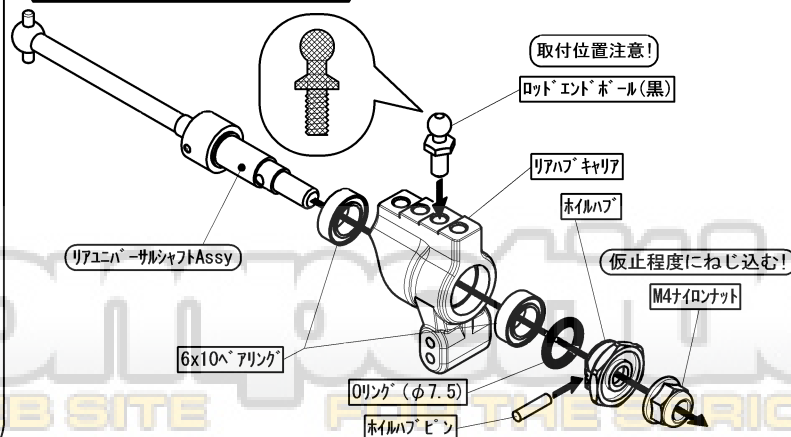


注意！②(ステアリングハブキャリア)は左右があります。

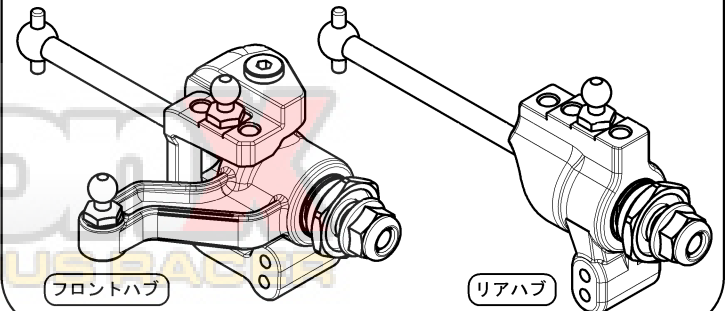
③(キングピン)上側を取付ける時は(キングピンカー)を押しつぶさない様注意して締め込んで下さい。(つぶれてしまうと動きが悪くなります。)

リアハブキャリアの組立て

2セット作ります。

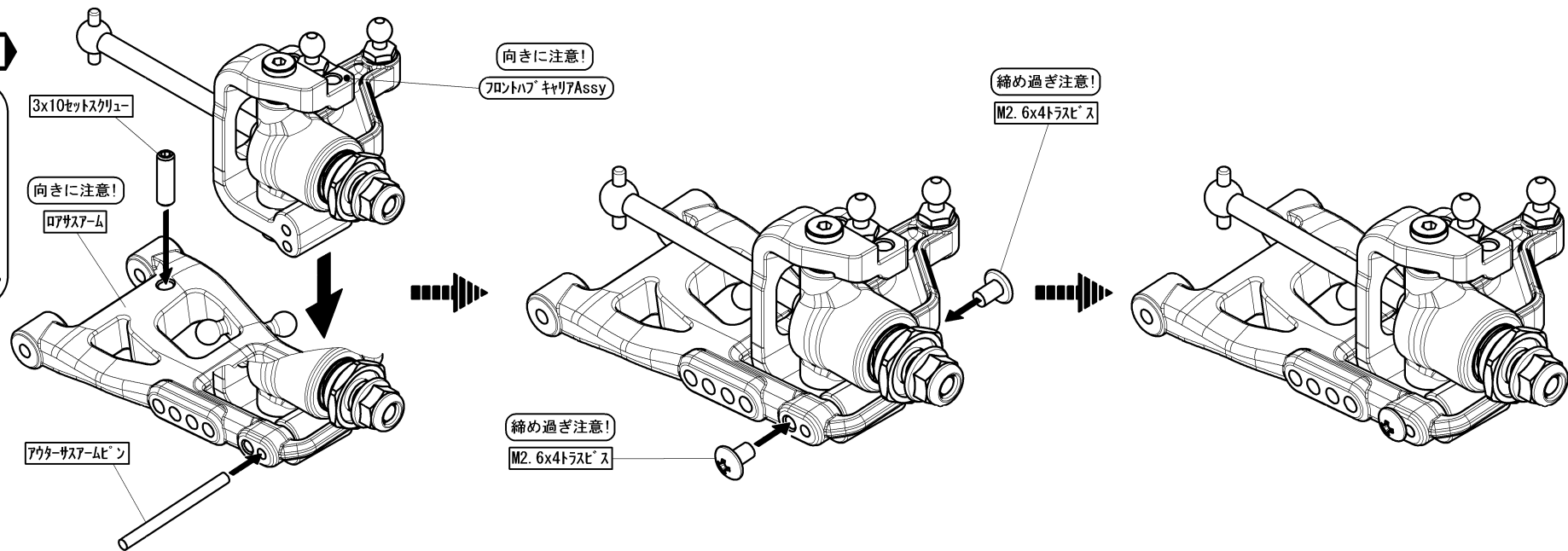
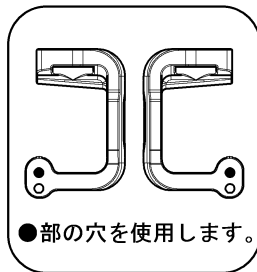


【反対側も対称に組立ってます。】



14 ロアサスアームの組立て

フロント側の組立て

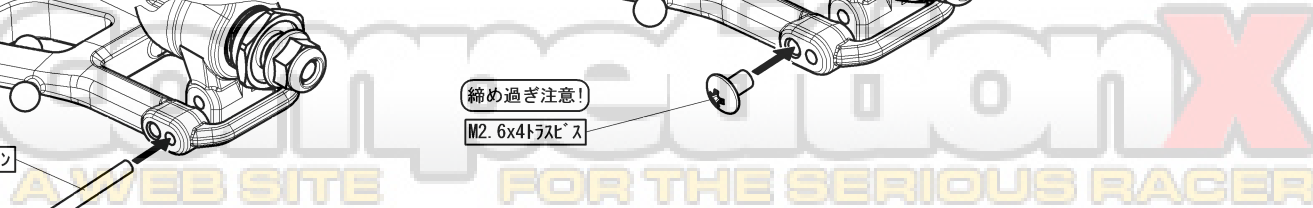
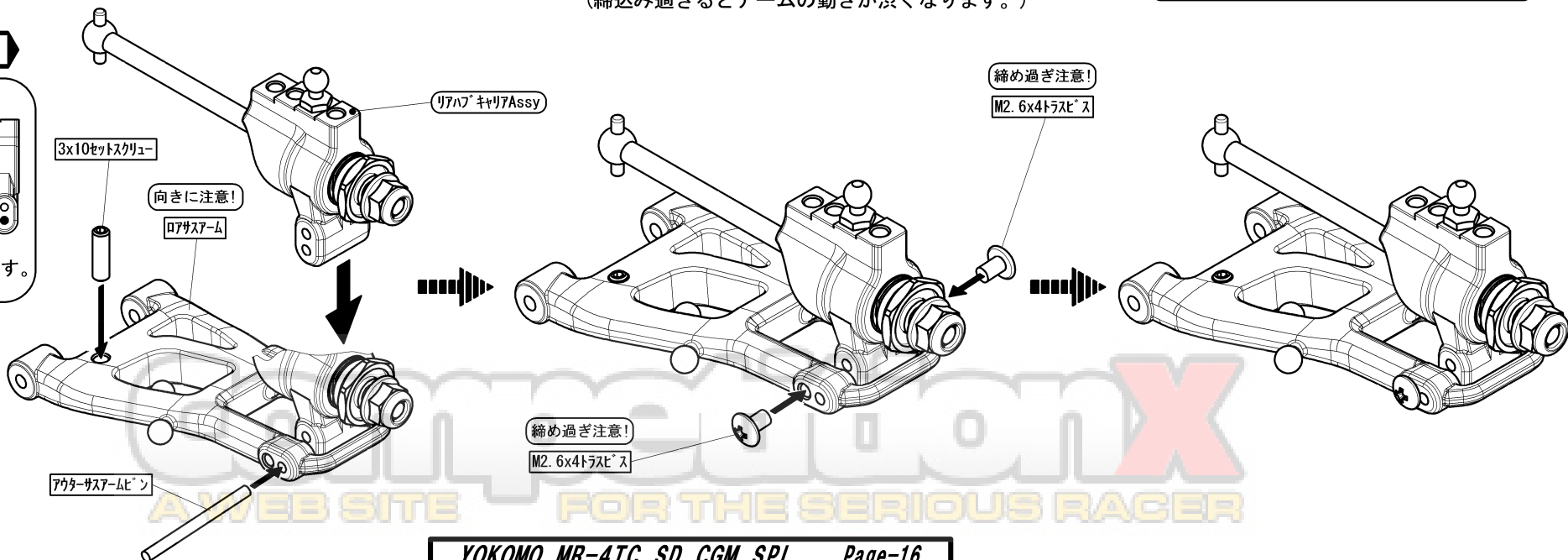
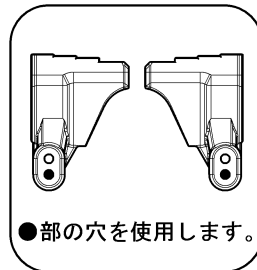


M3×10セットスクリューはリアアーム
下側約2mm程度出るまで締め込んで下さい。

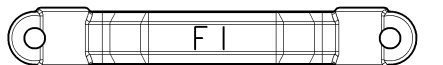
注意！ - (M2.6x4トラスピンス)をねじ込む時は、奥まで締めた後、
1/4回転戻して下さい。
(締め込み過ぎるとアームの動きが渋くなります。)

【反対側も対称に組立てます。】

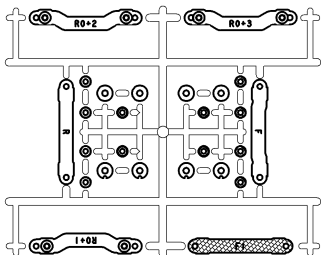
リア側の組立て



15 フロントロアササアームの取付け



- ×1 フロントササマウント
- ×4 ロアササアームスベ-サー薄(1mm)
- ×2 ロアササアームスベ-サー厚(2mm)



■部の部品を使用します。

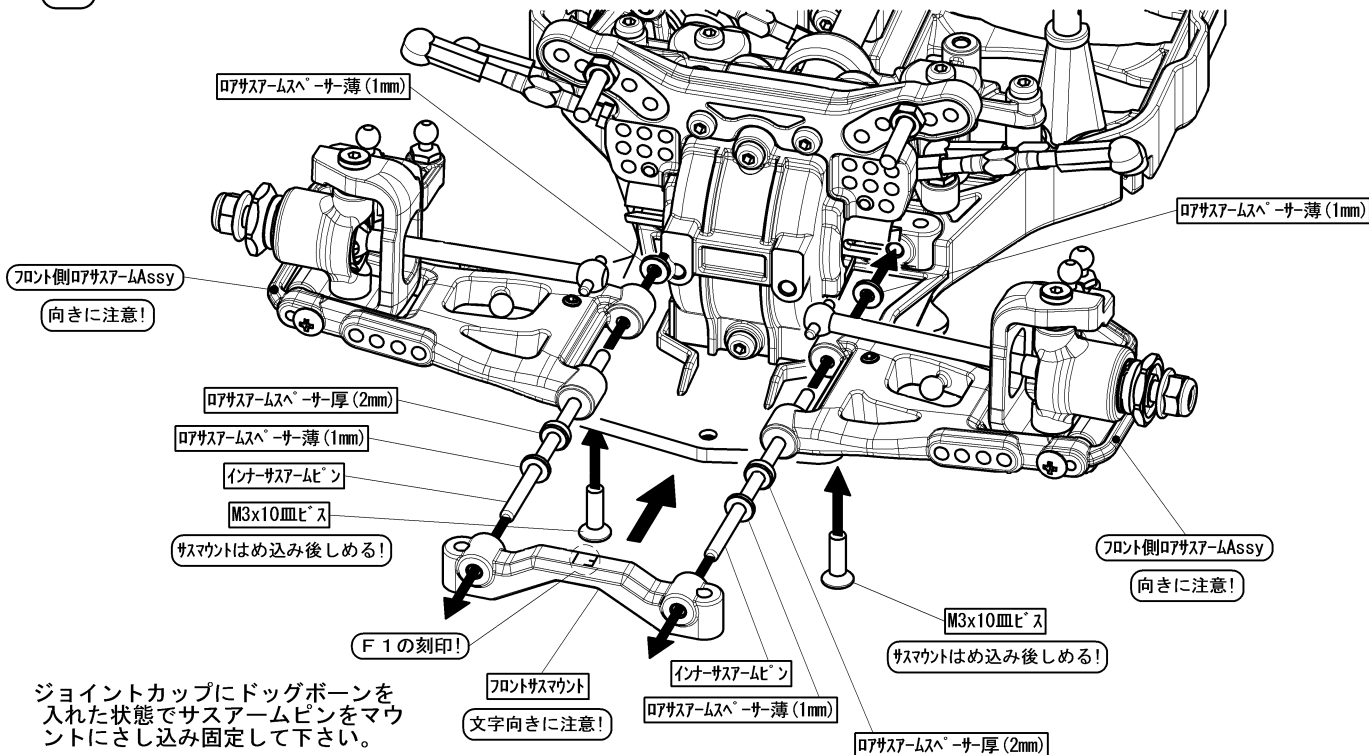
【取付け前にちょっと注目！】



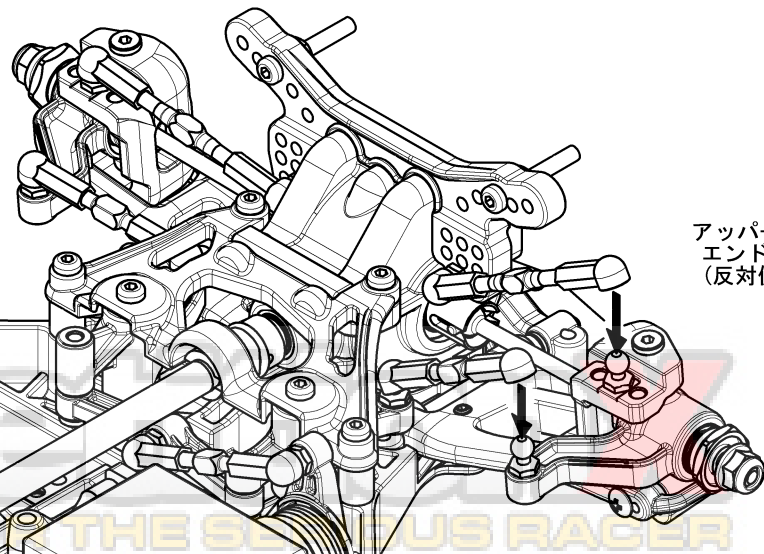
・ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ブラックグリス)を塗る事。

注意！①フロントユニバーサルシャフトのピンには必ず(ブラックグリス)を塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたフロントロアササアームには、左右の向きがあります。図を良く参照し間違いの無い様に組立てて下さい。

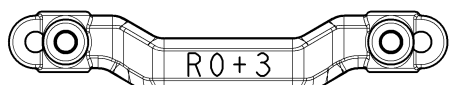


ジョイントカップにドッグボーンを入れた状態でササアームピンをマウントにさし込み固定して下さい。

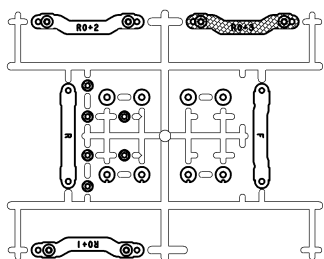


アップ-アーム、タイロッドをボール
エンドにはめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)

16 リアロアサスアームの取付け



- ×1 リアサスマウント
- ×4 ロアサアームスペーサー薄(1mm)
- ×2 ロアサアームスペーサー厚(2mm)



■部の部品を使用します。

マウントの刻印表示

マウントの刻印表示は以下のようになります。

- F1 = フロント用スキッド 1度
 - R0+1 = リア用トーイン 1度
 - R0+2 = リア用トーイン 2度
 - R0+3 = リア用トーイン 3度
- } スキッド角0度

他2種類のスペーサーは以下のようになります。

- キリ欠きなし = 高さ調整用 1mm厚(1枚)
- キリ欠きあり = スキッド角調整用 1度(1枚)

【取付け前にちょっと注目！】



デフループは使用不可！
(白色のグリス)

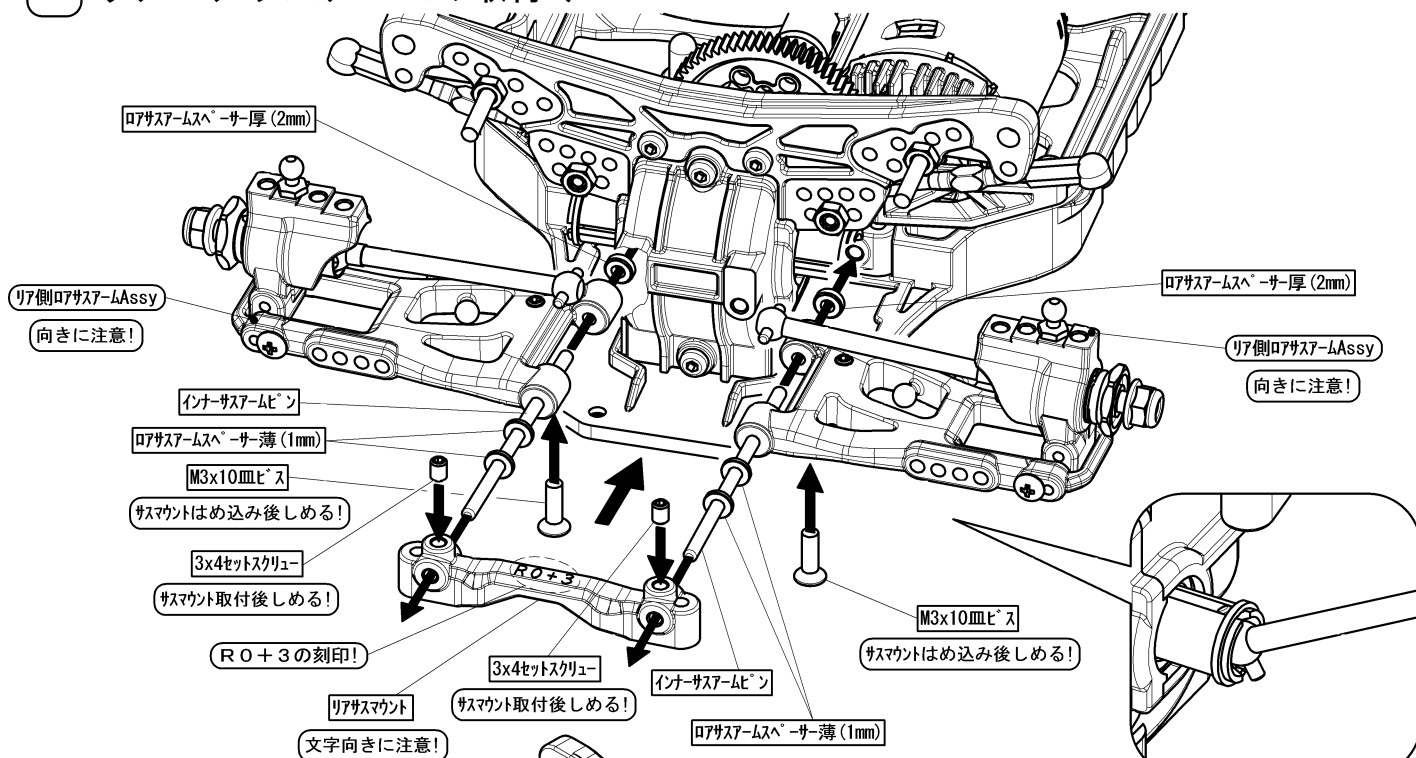


ブラックグリス
(黒色のグリス)

- ・ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ブラックグリス)を塗る事。

注意！①リアユニバーサルシャフトのピンには必ず(ブラックグリス)を塗る様にして下さい。

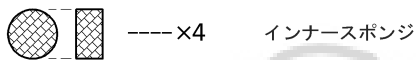
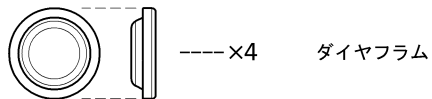
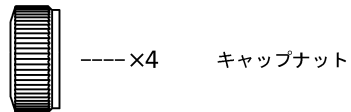
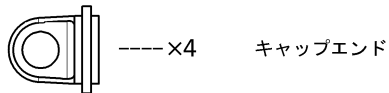
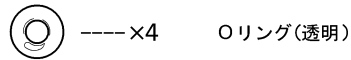
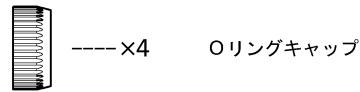
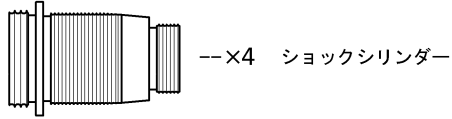
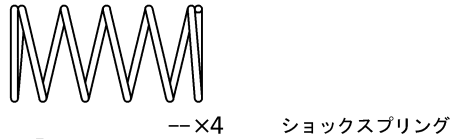
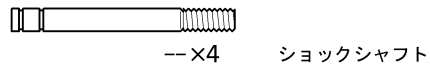
- ②前工程で組立てたリアロアサスアームには左右の向きがあります。図を良く参照し間違いの無い様に組立てて下さい。



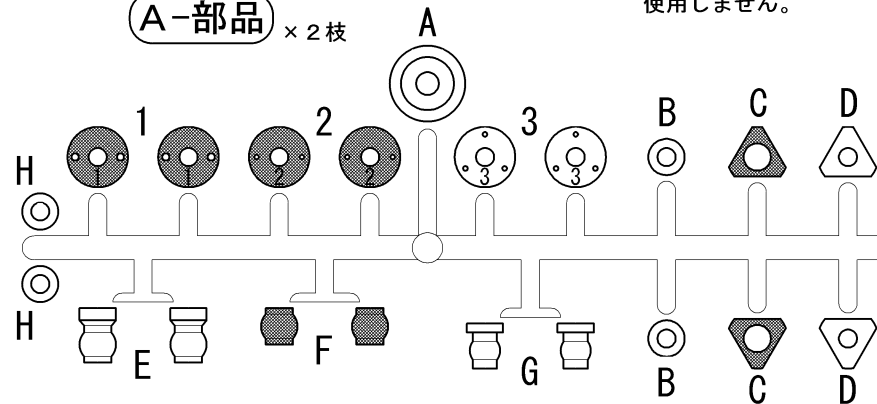
ジョイントカップにドッグボーンを入れた状態でサスアームピンをマウントにさし込み固定して下さい。

アッパーアームをボールエンドにはめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)

【袋⑪の内容】

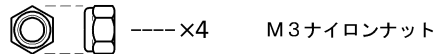
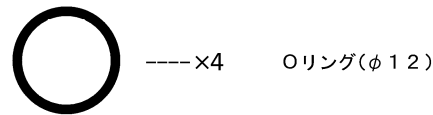
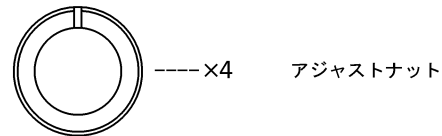
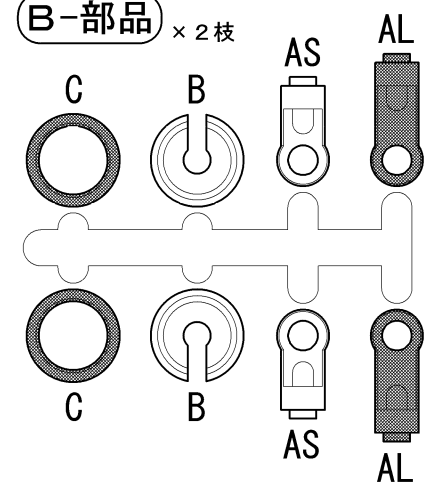


A-部品 x 2枝



■部の部品は
使用しません。

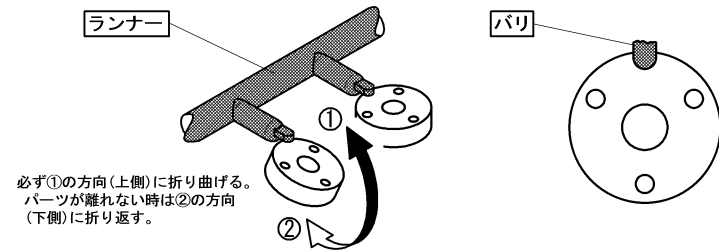
B-部品 x 2枝



その他、ショックオイル1ヶ

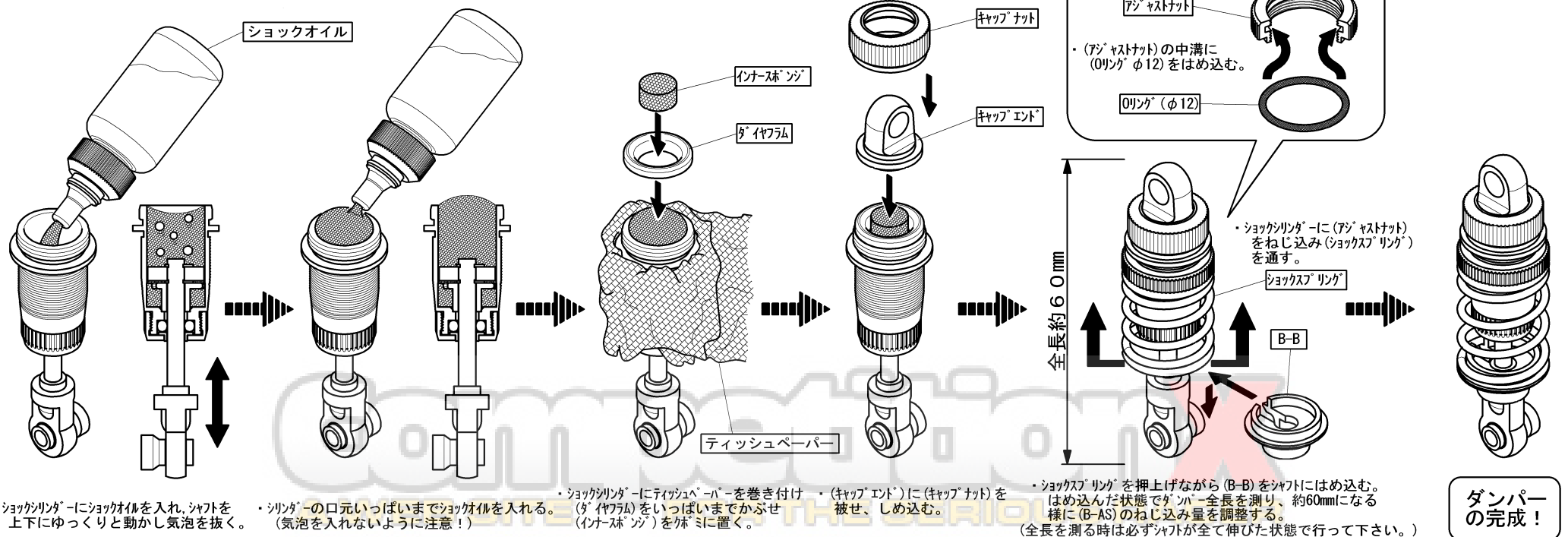
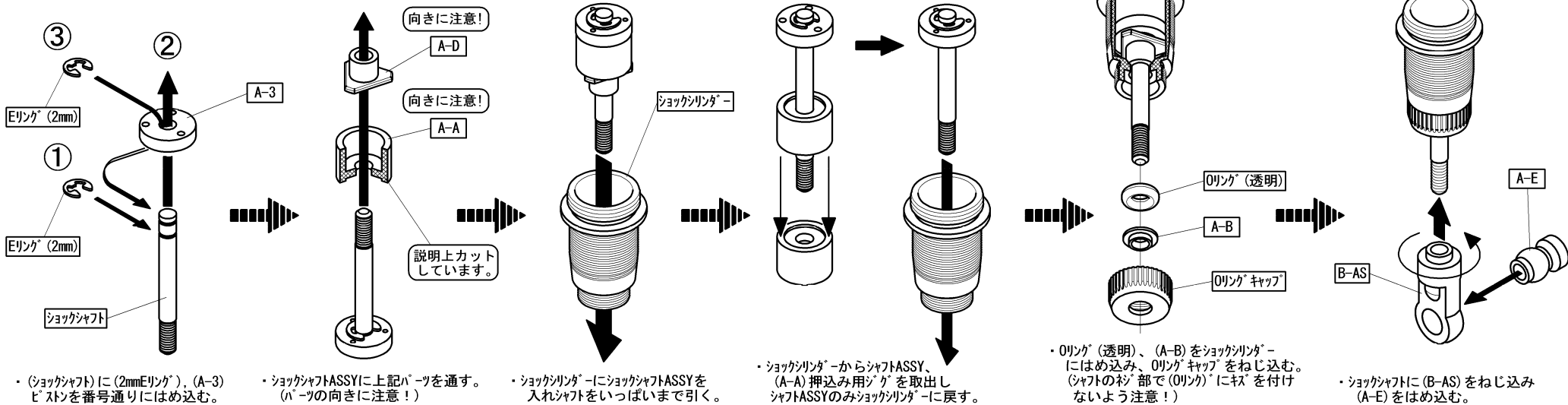
注意！①ダンパーは非常に多くのパーツ類から構成されています。
組立てる際には、間違えのないよう注意して下さい。

【ランナーから使用するパーツを切り離す】 【バリはカッターで切り落とす】



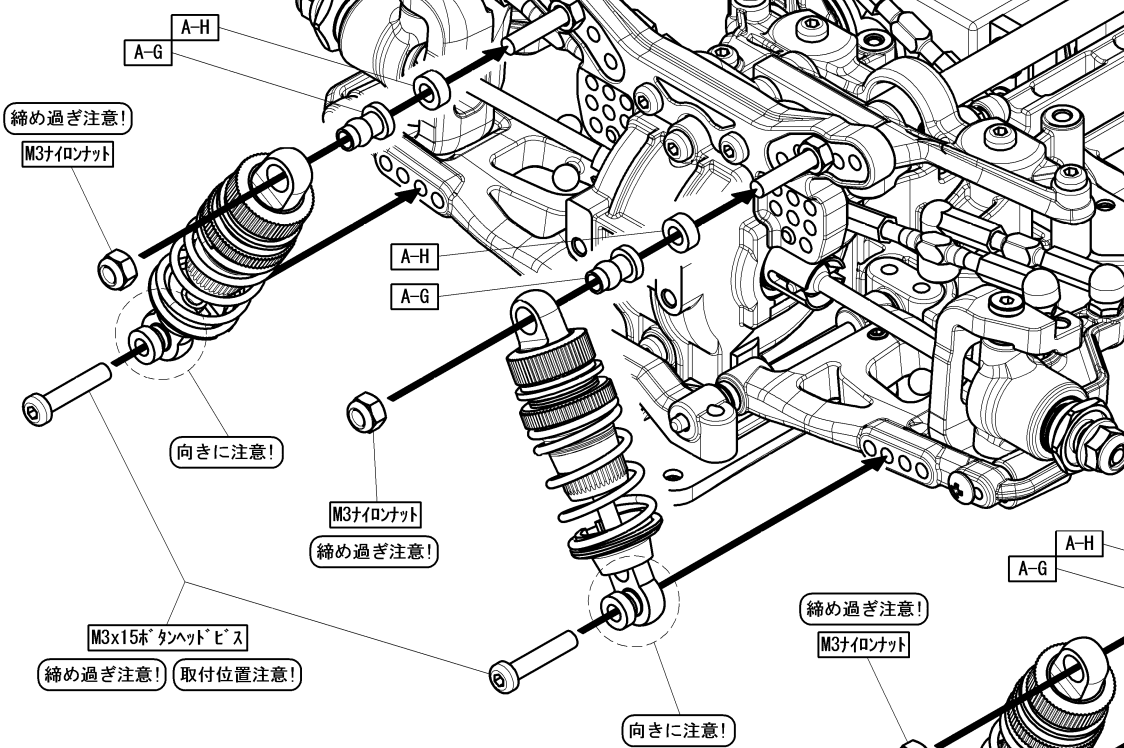
注意！②ランナーからパーツを切り離す際は、図の様に
折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離して下さい。なお、
パーツにバリなどが残ってしまった場合は、カッターなどで丁寧
に切り落として下さい。

17 ダンパーの組立て(4本作ります。)

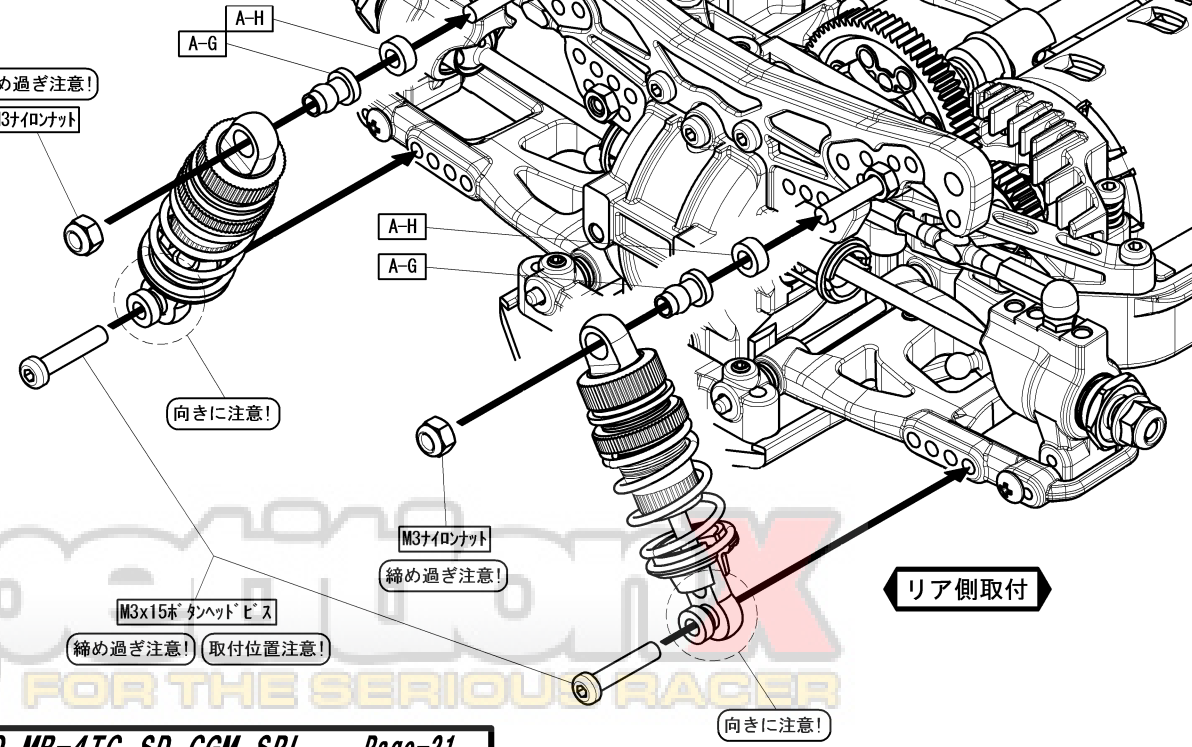


18 前後ダンパーの取付け

フロント側取付



リア側取付



注意！一前後ダンパーを固定するナベビス、ナイロンナットは軽く締まる程度に締めて下さい。
(締めすぎると樹脂のボールが潰れ、動きが悪くなります。)



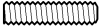




【このページの使用パーツ】

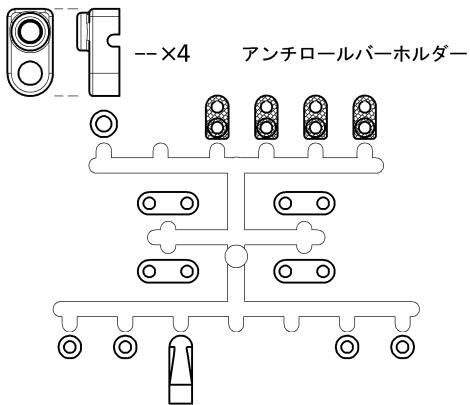
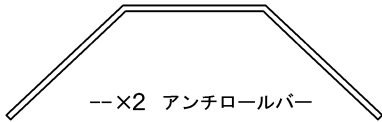
- x4 M3×15 ボタンヘッドビス
- x4 M3ナイロンナット

【A-部品】

- A-G** x4 ショック用アッパーボール
- A-H** x4 スペーサー

【袋⑫の内容】

-  --x4 M3×3セットスクリュー
-  --x4 M3×4セットスクリュー
-  --x4 M3×12セットスクリュー
-  --x4 M3×8 ボタンヘッドビス
-  --x4 アンチロールバーボール
-  --x4 ボールエンドキャップ
-  --x4 ボールエンド



■部の部品を使用します。

19 前後アンチロールバーの取付け

アンチロールバーロッドの組立て

それぞれのボールエンドを4mmカットします。

ボールエンドキャップ

ボールエンド

4mm

M3x12セットスクリュー

ボールエンドキャップ

ボールエンド側

M3x3セットスクリュー

アンチロールバーボール

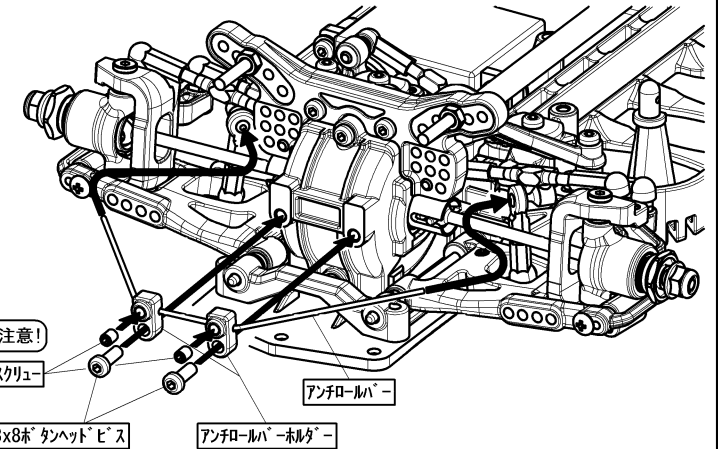
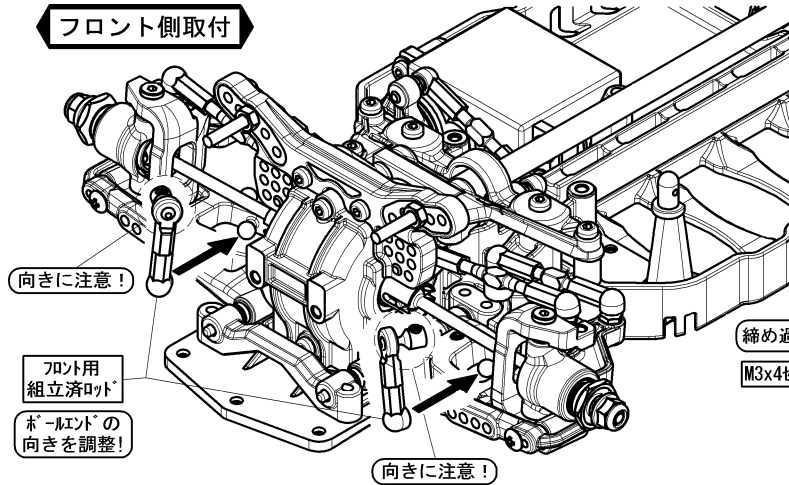
組立済ロッド

70フロント用27mm
リア用29mm

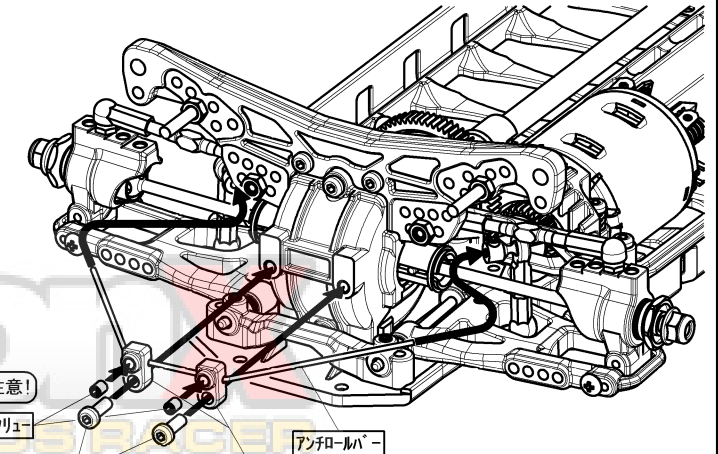
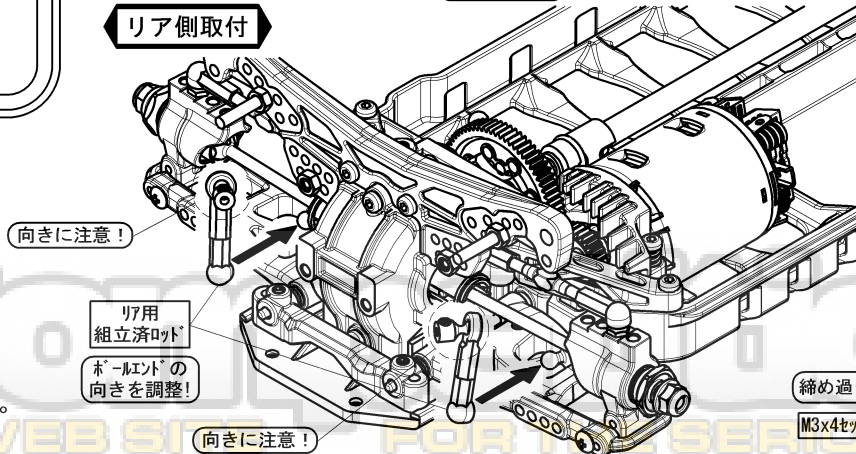
仮止程度にねじ込む!

アンチロールバーボールに組立済ロッドをはめ込み、M3×3セットスクリューを仮止めします。

フロント側取付





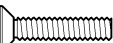



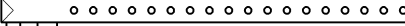

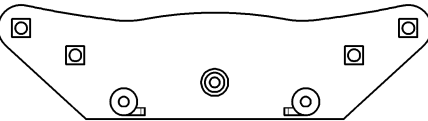
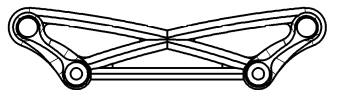
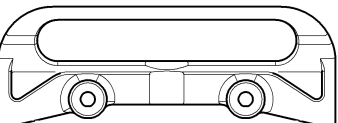
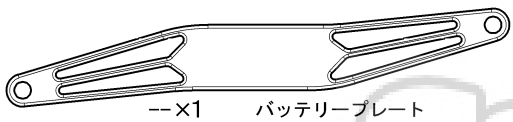
リア側取付



前後ロアアームのボール部に組立済ロッドをはめ込み、ボールエンドの向きを調整します。アンチロールバーをアンチロールバーボールに通し、アンチロールバーホルダーをミッションケースキャップに固定します。ホルダーにM3×4セットスクリューをロールバーにガタが出ない程度ねじ込み、ロールバーボールのセットスクリューをねじ込み、ロールバーを固定させます。

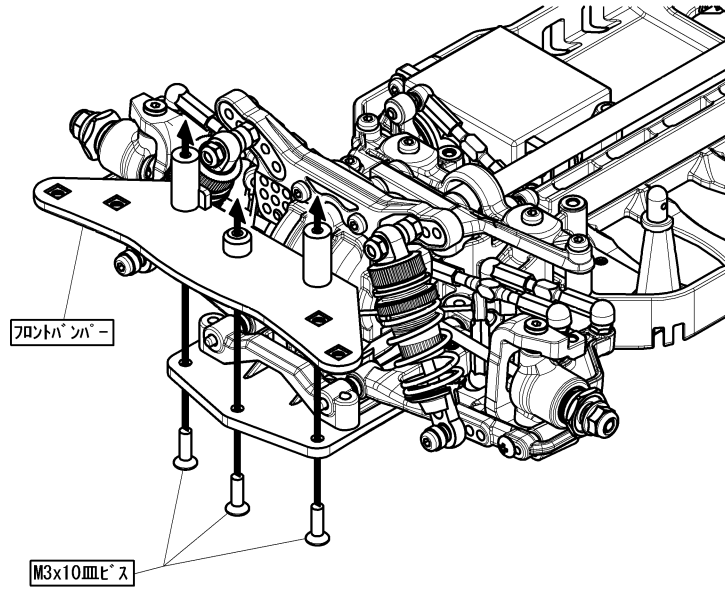
注意! アンチロールバーホルダーのセットスクリューはしめ過ぎないで下さい。アンチロールバーの動きが悪くなり走行性能に影響します。

【袋⑬の内容】

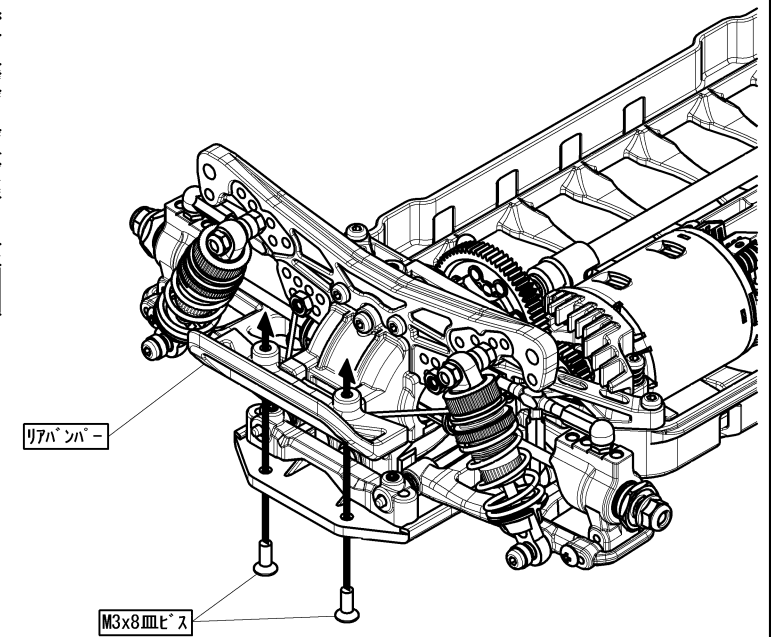
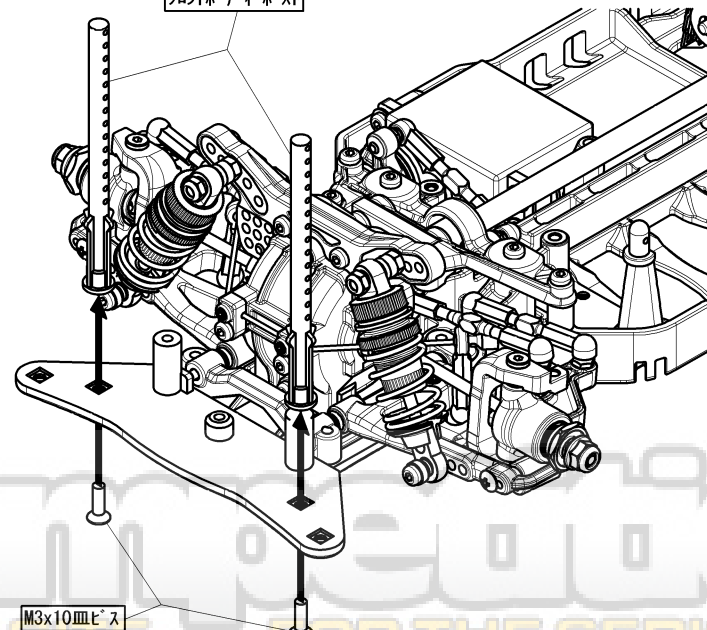
-  --x2 M3x8mmビス
-  --x5 M3x10mmビス
-  --x2 M3x15mmビス
-  --x2 M3x10 ボタンヘッドビス
-  --x10 フードピン
-  --x2 フロントボディポスト
-  --x2 リアボディポスト
-  --x4 ボディマウントシーソー
-  --x1 フロントバンパー
-  --x1 フロントバンパーサポート
-  --x1 リアバンパー
-  --x1 バッテリープレート

その他、アンテナキャップ、両面テープ
 ハイト&ドループゲージ 各1ヶ

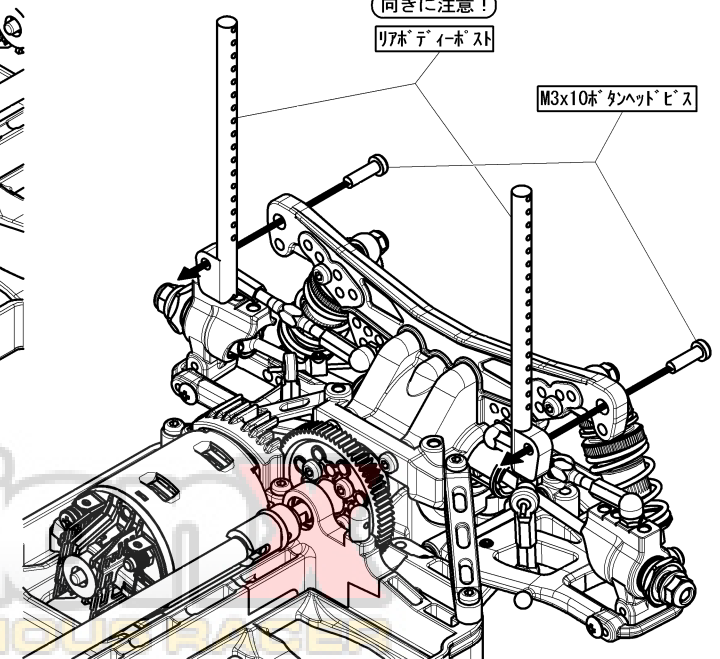
20 フロント&リアバンパー、ボディポストの取付け



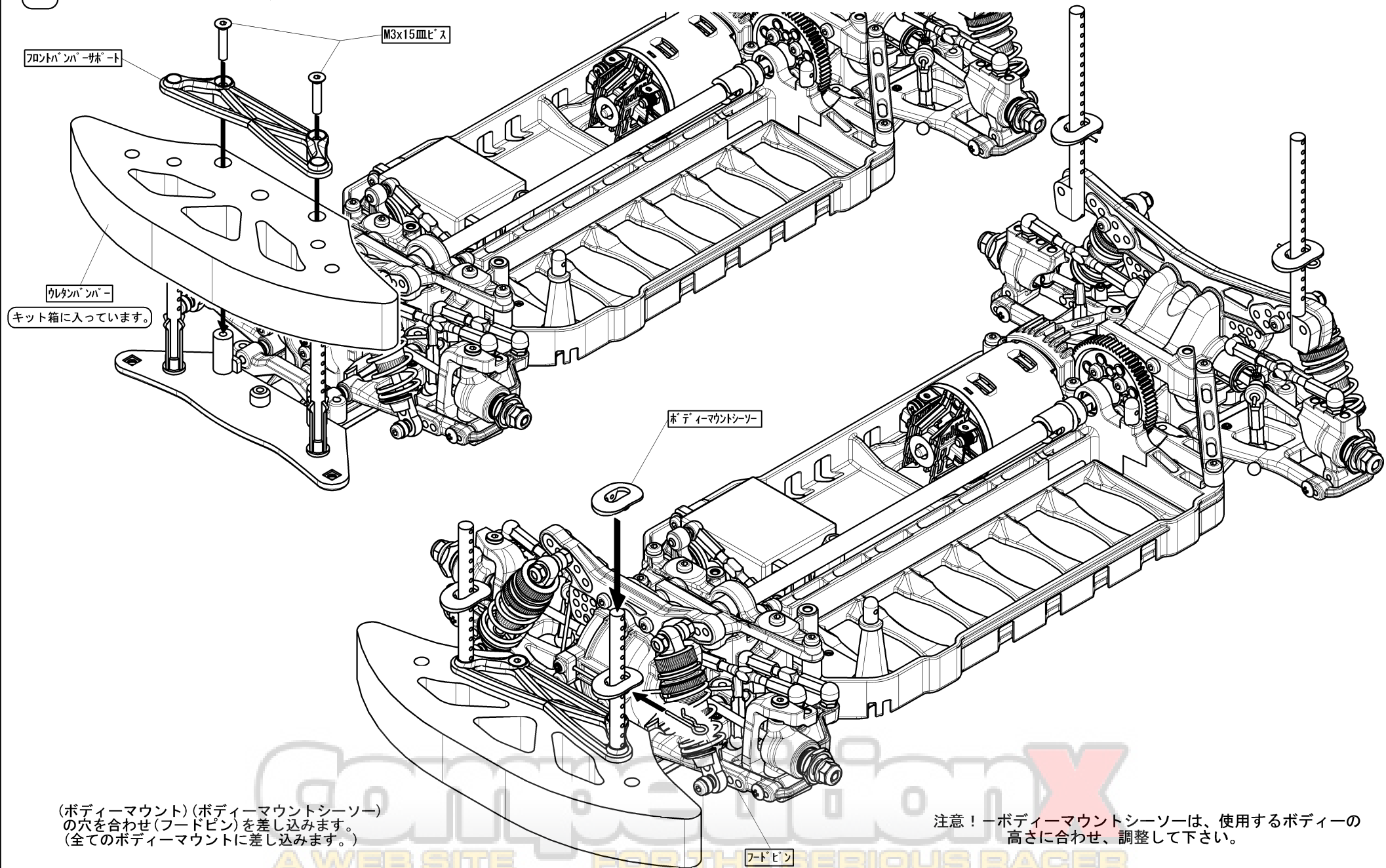
向きに注意！
 フロントボディポスト



向きに注意！
 リアボディポスト



21 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け

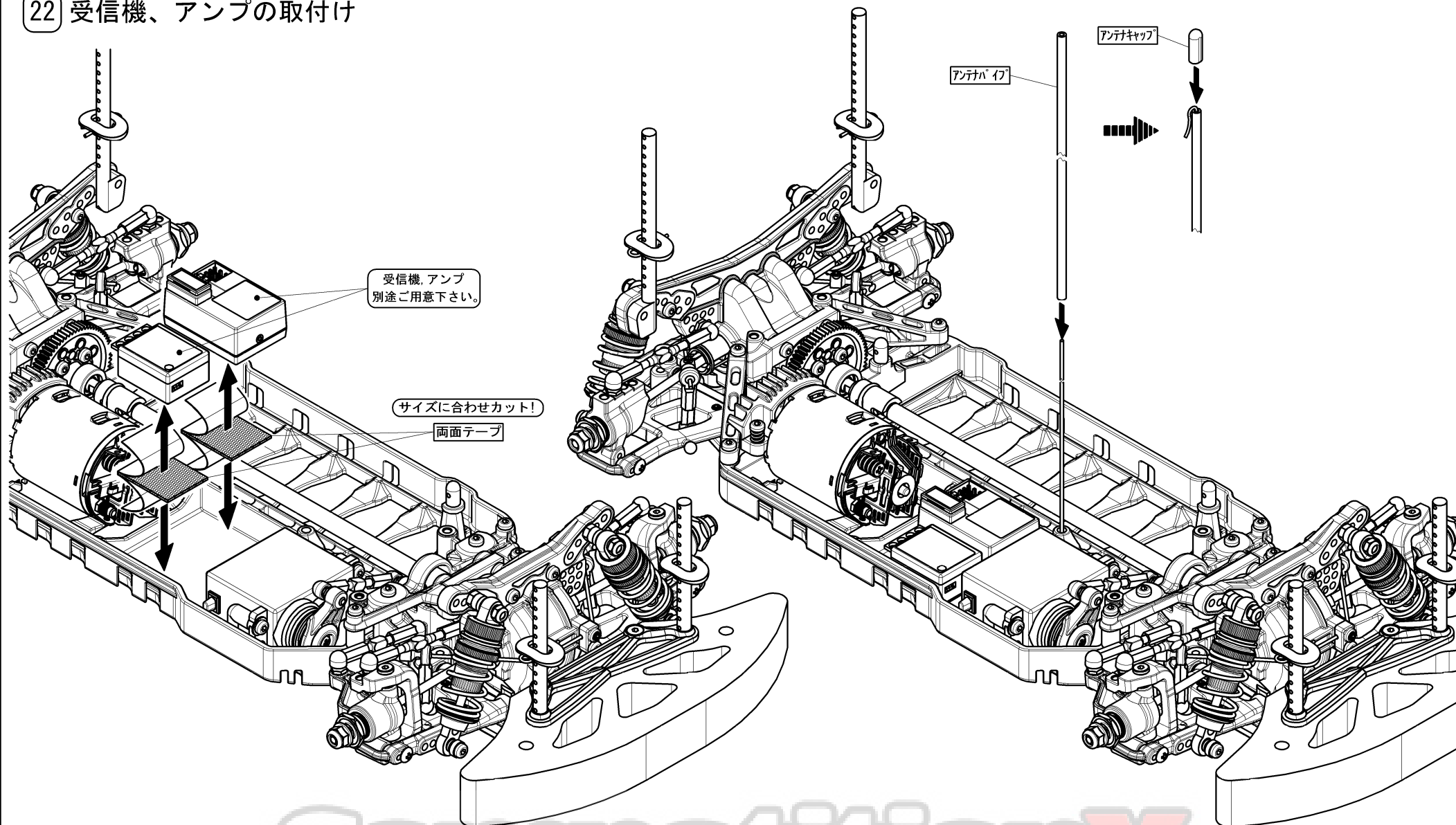


(ボディマウント) (ボディマウントシーソー) の穴を合わせ(フードピン)を差し込みます。(全てのボディマウントに差し込みます。)

注意！—ボディマウントシーソーは、使用するボディの高さに合わせ、調整して下さい。

GO TO THE SERIOUS RACER
A WEB SITE FOR THE SERIOUS RACER

22 受信機、アンプの取付け



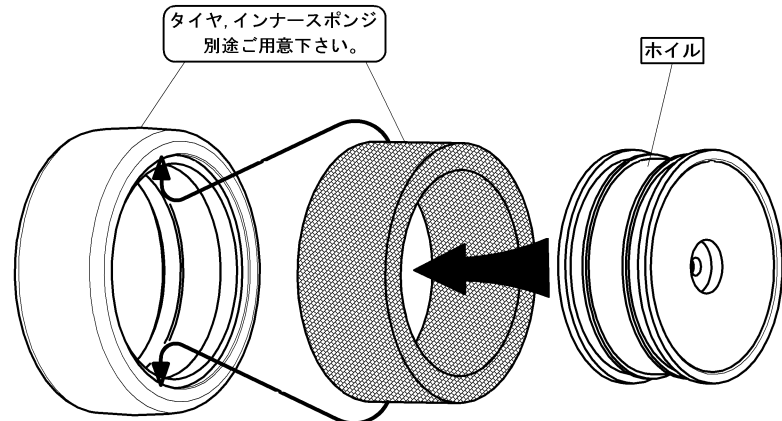
注意! ①(受信機) (アンプ) の固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておく、はがれにくくなります。)

アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントからアンテナパイプに通し、先端が2cm位出た所でアンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナキャップを被せて下さい。

注意! ②余ったアンテナ線はメインドライブシャフトなどの稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

23 タイヤの接着、ホイールハブの取付け

タイヤにインナーポンジを押込み、タイヤのリブをホイールのミズにはめ込みます。
(ホイールはキット箱に入っています。タイヤ、インナーポンジは別途ご用意下さい。)



タイヤのサイドをめくり、ホイールとの隙間に瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着します。

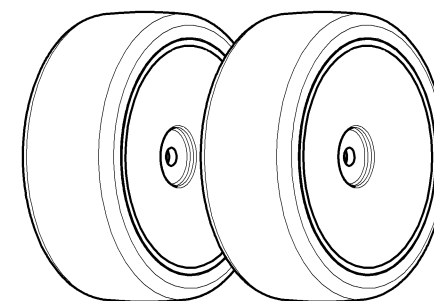
瞬間接着剤
別途ご用意下さい。



【取付け前にちょっと注目！】

各路面に対応できる、タイヤ、ホイール、インナーポンジ、インナーモールドなどを各種ラインナップしております。

各商品の詳しい情報は [ヨコモ 総合カタログ] もしくは [ヨコモホームページ <http://www.teamyokomo.com>] をご覧下さい。



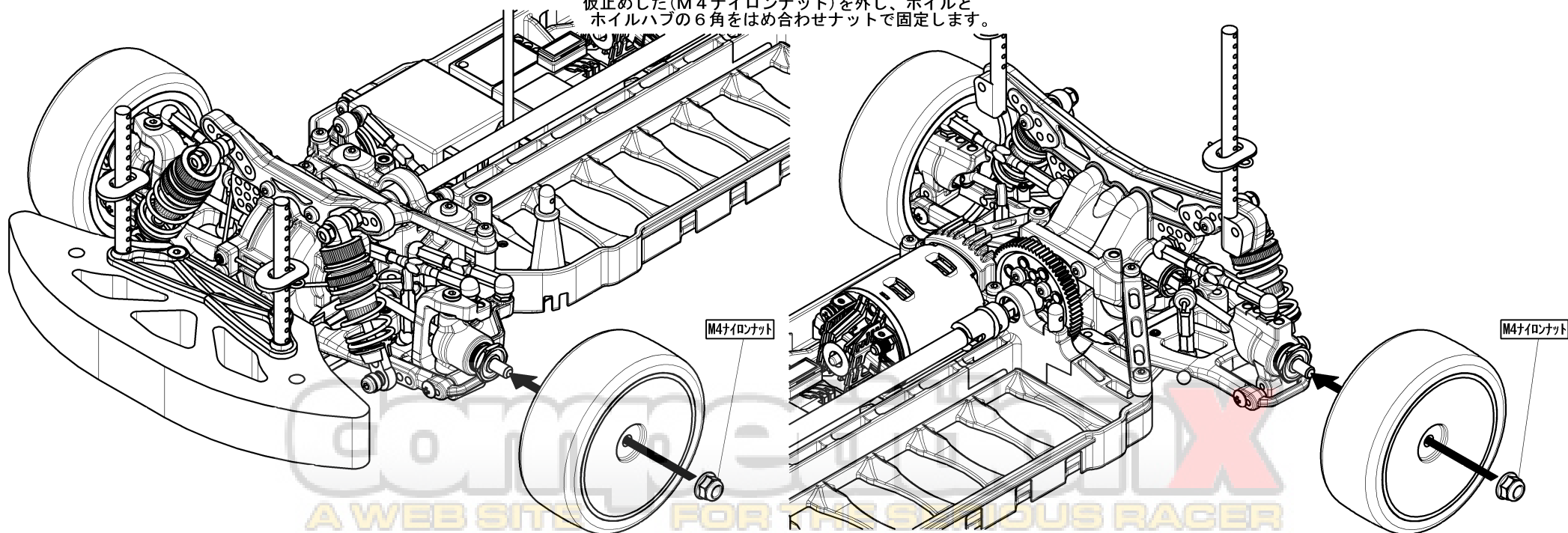
4本作ります。

フロント側

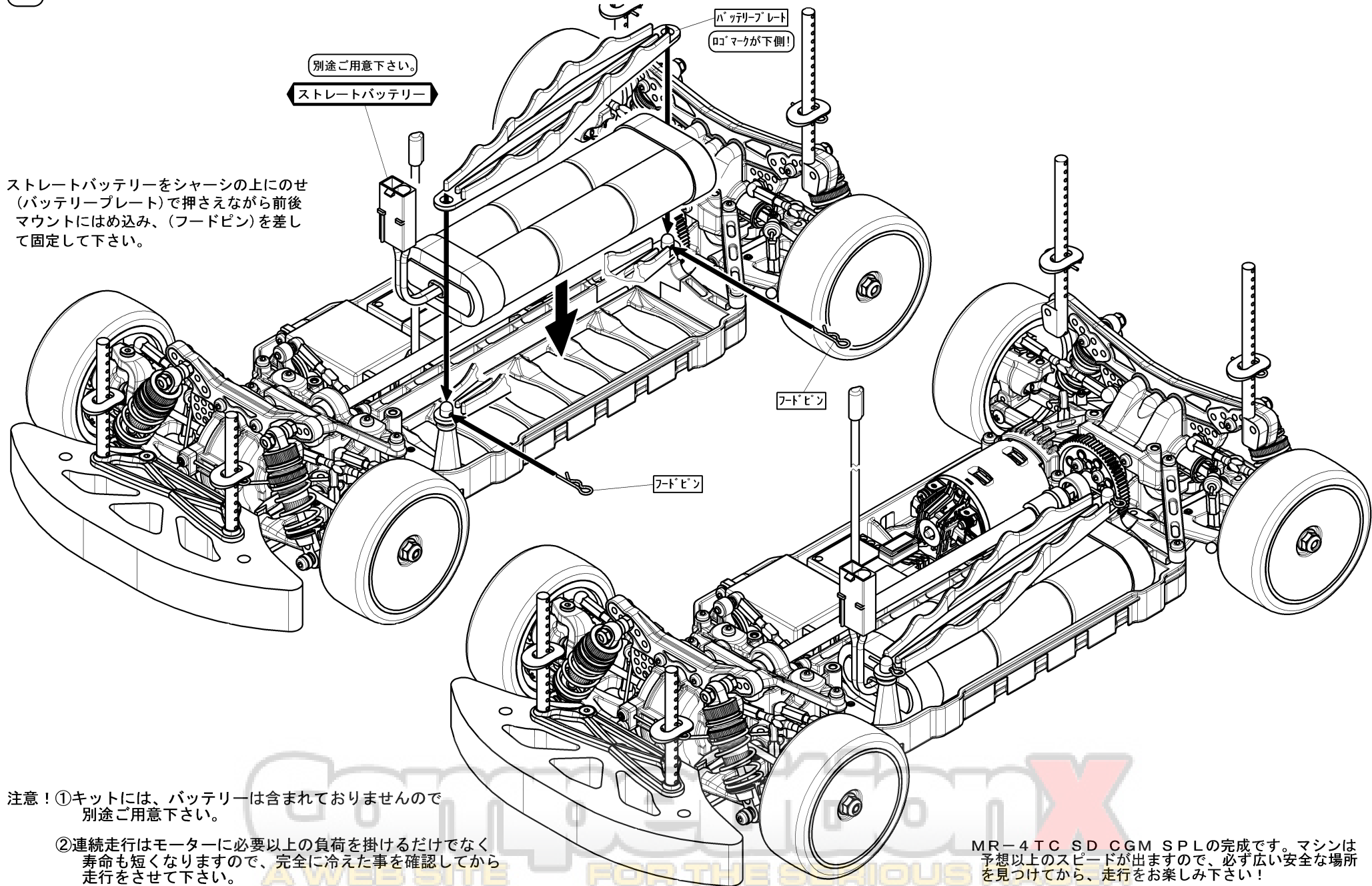
【反対側も同じ様に固定します。】

リア側

仮止めた(M4ナイロンナット)を外し、ホイールとホイールハブの6角をはめ合わせナットで固定します。



24 バッテリーの搭載方法(ストレートバッテリー編)



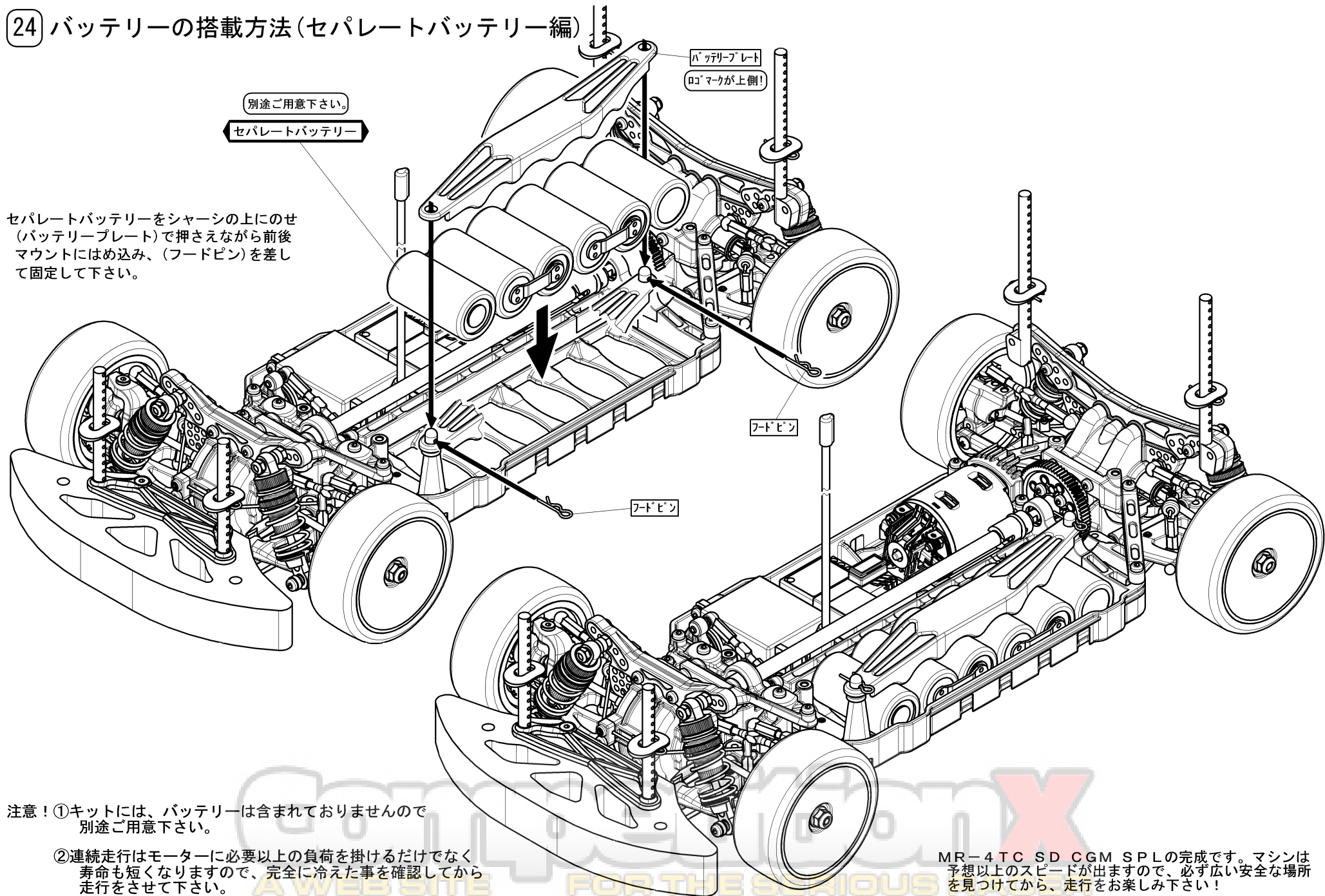
ストレートバッテリーをシャーシの上のせ
(バッテリープレート)で押さえながら前後
マウントにはめ込み、(フードピン)を差し
て固定して下さい。

注意! ①キットには、バッテリーは含まれておりませんので
別途ご用意下さい。

②連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく
寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから
走行をさせて下さい。

MR-4TC SD CGM SPLの完成です。マシンは
予想以上のスピードが出ますので、必ず広い安全な場所
を見つけてから、走行をお楽しみ下さい!

24 バッテリーの搭載方法(セパレートバッテリー編)



別途ご用意下さい。

セパレートバッテリー

セパレートバッテリーをシャーシの上のせ
(バッテリープレート)で押さえながら前後
マウントにはめ込み、(フットピン)を差し
て固定して下さい。

バッテリープレート

ロゴマークが上側!

フットピン

フットピン

注意! ①キットには、バッテリーは含まれておりませんので
別途ご用意下さい。

②連続走行はモーターに必要な以上の負荷を掛けるだけでなく
寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから
走行をさせて下さい。

MR-4TC SD CGM SPLの完成です。マシンは
予想以上のスピードが出ますので、必ず広い安全な場所
を見つけてから、走行をお楽しみ下さい!

MR-4TCSD SETTING SHEET

CIRCUIT
環境
路面
クラック
路面状況

- インボア アウトボア
 アスファルト コンクリート カーペット
 高い 普通
 フラット バンピー

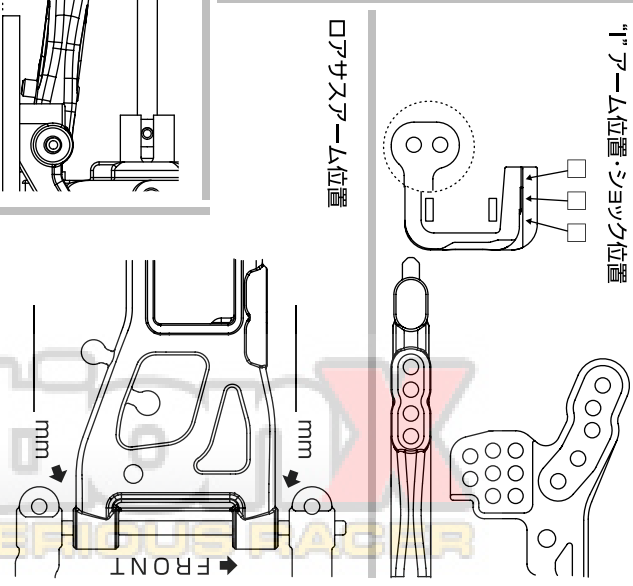
DRIVER

DATE

FRONT

- 駆動系
 □ フロントエイ
 □ ボールデブ
 □ ソリッド
 スタビライザー
 □ 無し
 □ アッパー
 □ ロア
 STフロック
 □ _____ mm
 ハブキャリア
 □ _____ 度
 キャンバー角
 □ _____ 度
 トー角
 □ _____ 度
 サスサウントスキッド角
 □ _____ 度
 サスサウントハイトスペーサー
 (前側後側共に) _____ mm

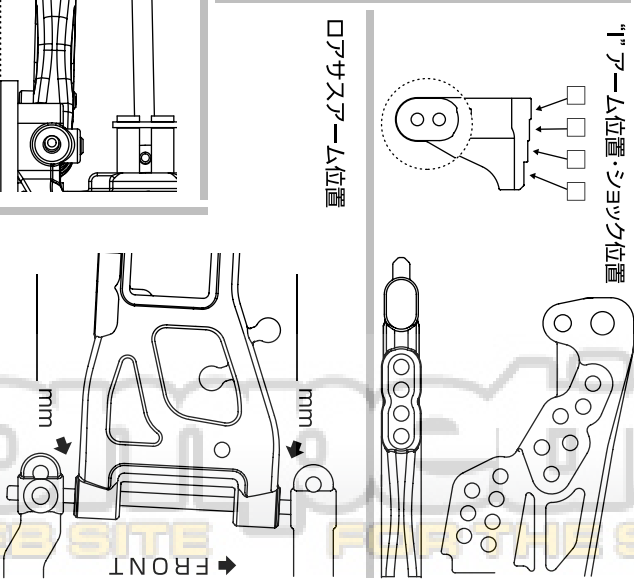
- ダイナミック
 エアレーション
 □ _____
 □ SSS
 □ SS
 ショックボデー
 □ SSS
 □ SS
 ショックエンド
 □ ロンゲ
 □ ショート
 □ アンシ
 全長
 □ _____ mm
 スプリング
 □ _____ mm
 オイル
 □ _____ mm
 ピストン
 □ _____ mm
 フルーフライト
 □ _____ mm



REAR

- スタビライザー
 □ 無し
 □ アッパー
 □ ロア
 ハブキャリア
 □ _____ 度
 キャンバー角
 □ _____ 度
 サスサウント (トー角)
 □ 1度
 □ 2度
 □ 3度
 サスサウントスキッド角
 □ _____ 度
 サスサウントハイトスペーサー
 (前側後側共に) _____ mm

- ダイナミック
 エアレーション
 □ _____
 □ SSS
 □ SS
 ショックボデー
 □ SSS
 □ SS
 ショックエンド
 □ ロンゲ
 □ ショート
 □ アンシ
 全長
 □ _____ mm
 スプリング
 □ _____ mm
 オイル
 □ _____ mm
 ピストン
 □ _____ mm
 フルーフライト
 □ _____ mm



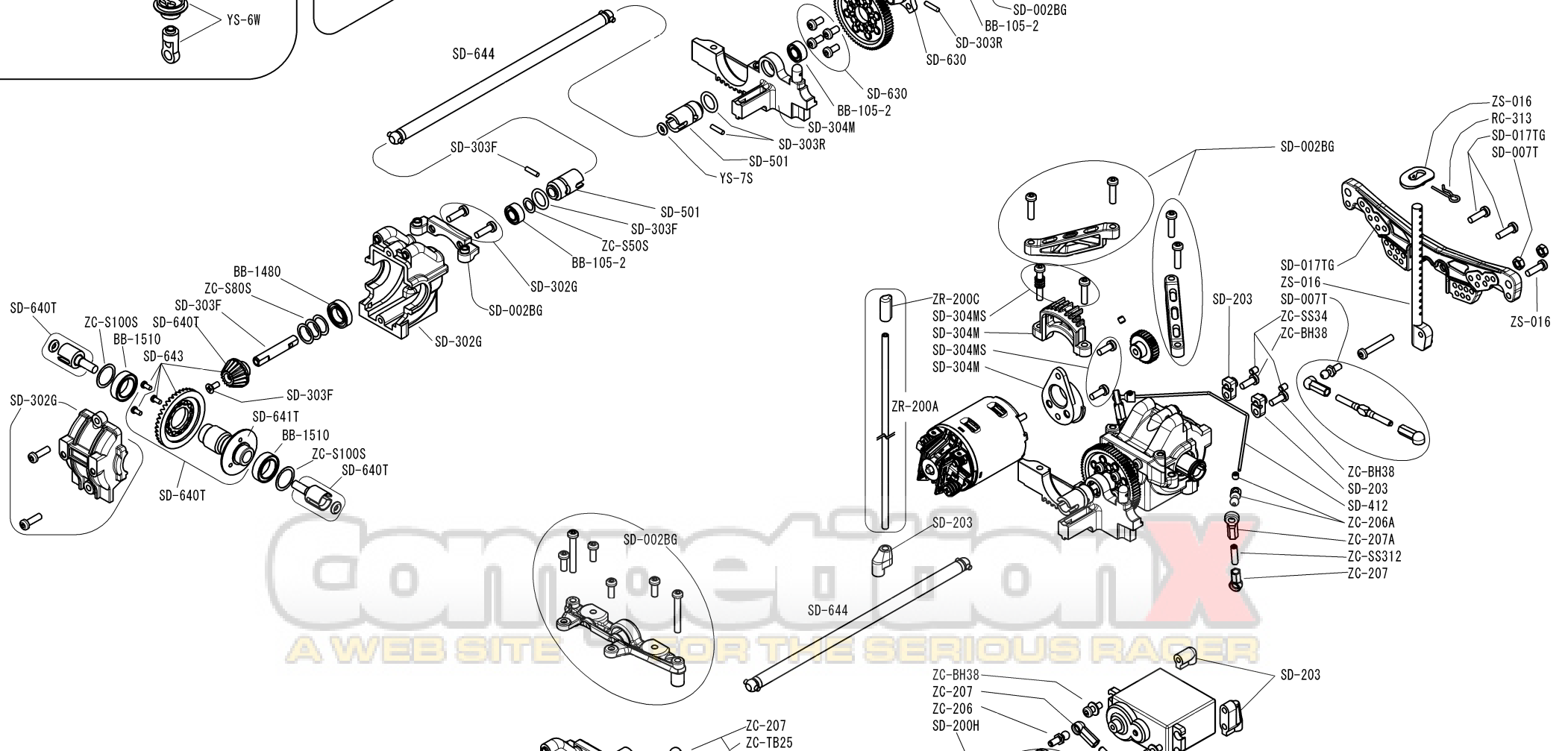
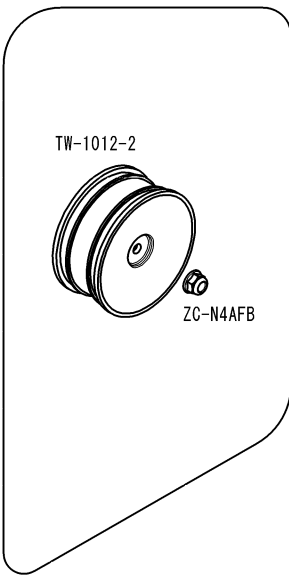
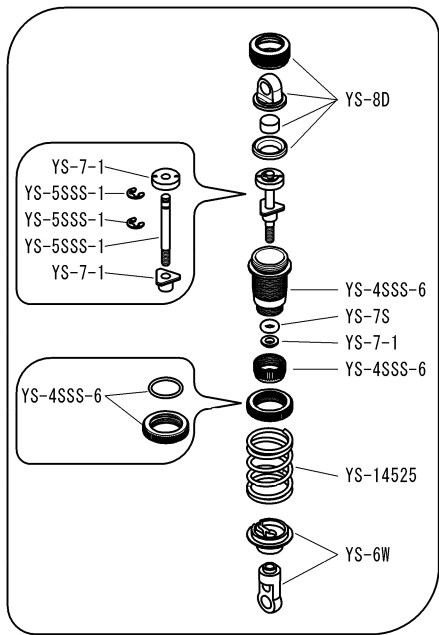
OTHER

- タイヤ
 □ _____
 インナー
 □ _____
 ホイール
 □ _____
 トラクション剤
 □ 無し
 □ _____
 スパーク
 □ _____ P _____ T
 ピニオンギヤ
 □ _____ P _____ T
 キヤ比
 □ _____ : 1
 =スパークギヤ ÷ ピニオンギヤ × 2.35 (二次減速比)

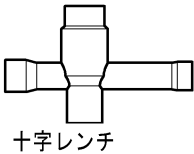
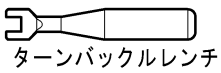
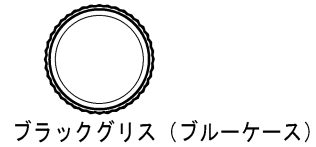
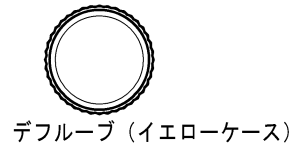
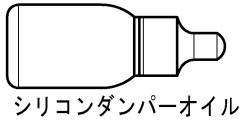
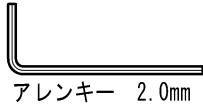
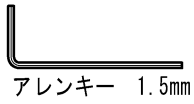
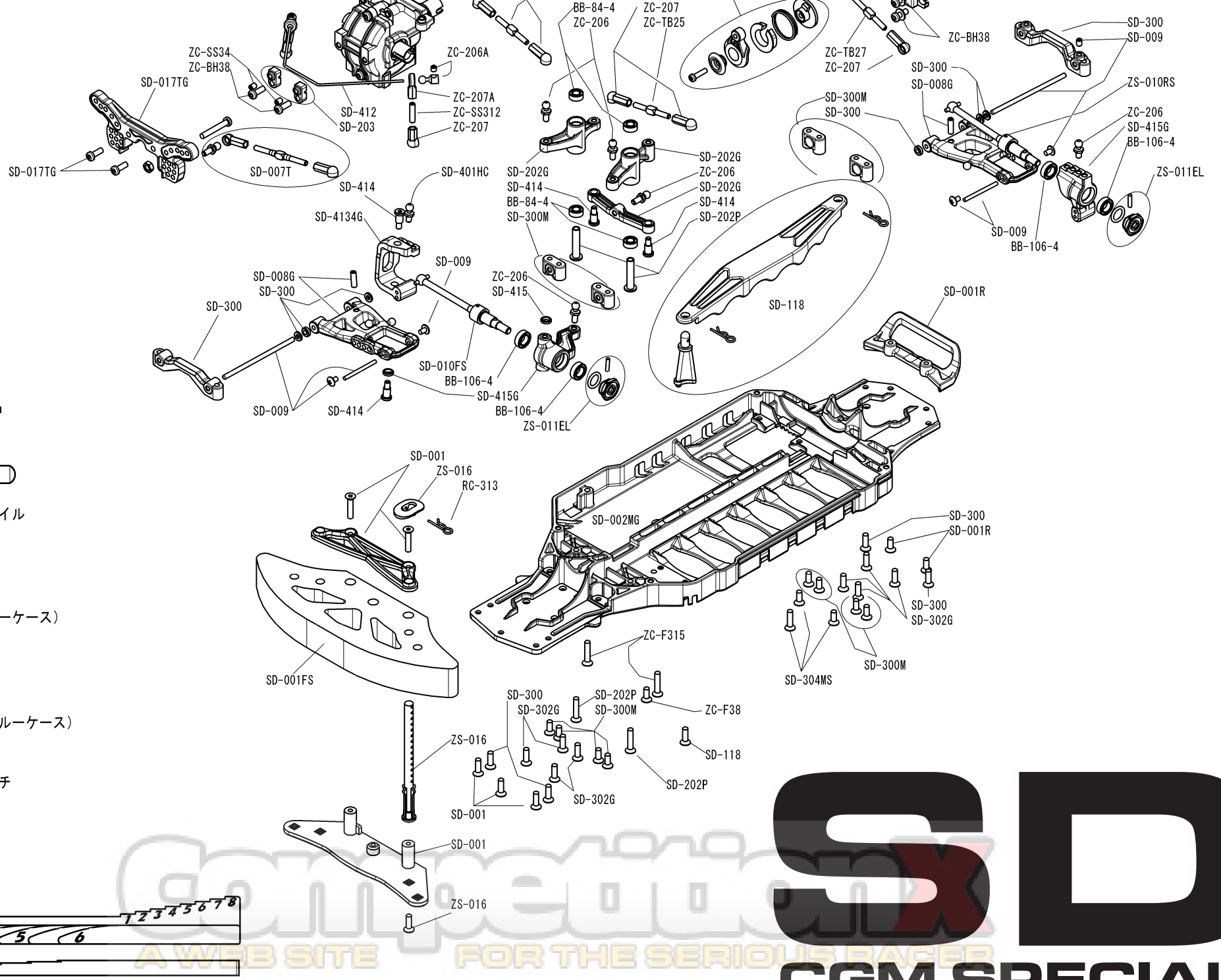
- モーター
 □ _____
 バッテリー
 □ _____
 ESC
 □ _____
 フロント ボデーサウント ポジション
 □ 内側
 □ 外側
 ボデー
 □ _____
 ウィンダ
 □ _____

COMMENT

車高
 F _____ mm
 R _____ mm



COMPETITION
 A WEB SITE FOR THE SERIOUS RACER



SD
CGM SPECIAL

As a manufacturer of World Championship winning cars,

Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.

Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.

YOKOMO

World Champions

世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用R/Cカー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そしてR/Cカーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中のR/Cカーマニアに愛用されています。

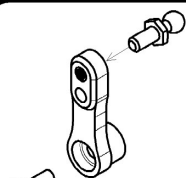
株式会社 ヨコモ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7 <http://www.teamyokomo.com>
TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552 営業時間：9時～12時 13時～17時（祝祭日を除く月～金）

YOKOMO USA INC. 17951 SKY PARK CIRCLE, BLD. 35 SUITE K, IRVINE, CA, 92614 U.S.A.
<http://www.yokomousa.com> TEL 949-252-8663 FAX 949-252-8657

説明書に記載されております袋内容と異なる部分があります。

- ・袋-③モーターマウント、シャシーブレース
 - ・袋-⑥モーターカム、モータークランプ、モーターマウントスプリング
 - ・リヤ用アンチロールバー・ブラック
- 上記のパーツは別袋に入っております。

組立て説明書 Page-12 ⑩サーボセイバー、サーボの取付け

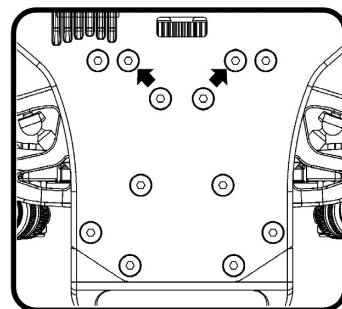


サーボ付属のビスを使用して下さい。

- ・ダイレクトなステアリングのフィーリングを望む方はサーボセイバーホーンの替わりに左図のサーボホーンをご使用ください。
- ※ただし大きなクラッシュではサーボギヤが破損する恐れがありますので十分注意して下さい。

組立て説明書 Page-18 ⑯リヤロアサスアームの取付け

- ・サスアーム組込み後、サスアームがスムーズに作動しているか確認して下さい。
- ・サスアームの作動が渋い場合、サスマウント取付けビスの締め込み過ぎによるサスアームピンの歪みが渋さの原因です。組込み後、作動を確認しながらサスマウント取付けビスを締め込みなおして下さい。あまり変化が見られないようでしたら、図の矢印部のビスを外してご使用下さい。
- ・このビスを取り外しても走行上の問題はありません。
- ・フロントも同様です。

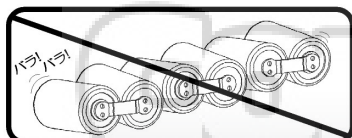


組立て説明書 Page-22 ⑰前後アンチロールバーの取付け

- ・リヤ用のアンチロールバーは別袋のブラックをご使用ください。

組立て説明書 Page-28 バッテリーの搭載方法

※バッテリー搭載時の注意※



ご使用されるバッテリーのセル同士の間隔にご注意下さい。クラッシュ等の衝撃でバッテリーケースが変形する恐れがあります。セルの並びが変形したバッテリーを搭載した際にシャシーにねじれや歪みが生じ、走行に悪影響を及ぼす恐れがあるためご注意ください。

必ず、バッテリーはセル同士が水平に並んだ状態でご使用下さい。また、固定の際に、バッテリープレートはバッテリーを押しえつけず多少のガタを持たせてください。